対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	撮影		
担当教	員	長谷川新	実	・		0
対象コ [.]	ース	動画グリエイターコース 映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース 映画・映像カメラマンコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
-	授業概要、目的、 授業の進め方 1. 撮影基礎を復習。 2. 特殊機材を使用しての実習 3. 上記を踏まえ、ストーリーの映像化					
学習目7	-	撮影現場で他者とのイメージがま	共有出来、より正	確に具現化する		
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1 · 2	撮影基礎			撮影機材について	-	
3 · 4	撮影基礎の復習Ⅱ			撮影機材について		
5 · 6	撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習	
7 · 8	撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習	
9 · 1 0	撮影実習・技法Ⅲ			特殊機材を使用し	ての実習	
11.12	撮影実習・技法IV			カメラワーク基礎	*	
13 · 14	撮影実習・技法V			カメラワーク基礎		
15 · 16	撮影実習・技法VI			カメラワーク基礎	★ 2	
17 · 18	撮影実習丨			室内撮影		
19.20	撮影実習Ⅱ			室外撮影		
21 · 22	撮影実習Ш			既存の映像の考察	₹及び再現Ⅲ	
23 · 24	撮影実習IV			既存の映像の考察	R及び再現IV	
25 · 26	映像制作実習I			学生シナリオを元にした映像制作実習I		
27 · 28	映像制作実習II			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅱ		
29 · 30	映像制作実習Ⅲ			学生シナリオを元にした映像制作実習Ⅲ		
31 · 32	映像制作実習IV			学生シナリオを元にした映像制作実習IV		
33 · 34	映像制作実習V			学生シナリオを元にした映像制作実習 V		
35 · 36	映像制作実習VI			学生シナリオを元	にした映像制作実	꼴VI
37.38	映像制作実習VII	2000000		学生シナリオを元	たにした映像制作実	習VII
39 · 40	講評			講評・テスト		
41 · 42	講評			講評・テスト		
43 · 44	43 · 4 4 講評			講評・テスト		
45 · 46	4 5 · 4 6 講評 講評・テスト					
47 · 48	47・48 講評・テスト					
	 評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
成績評価 D評価を	基準は、A(80点以 不可とする。	%、実技試験25%、学習意欲10 ⁶ (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	出来る事。学生自身 として完成させる事 持って参加する事。	が最後までシナリオを 。全ての実習項目に出	らよび操作が学生自身で と書き、尚且、映像作品 出席し、諦めず責任を
実務経	験教員の経歴	2	新潟で20年以上	ニカメラマンと	して活躍	

1.1.6	6.1	-11.75 · ·				
対象学科		動画・映像クリエイター科	科目名 ————————————————————————————————————		撮影 T	_
担当教員		長谷川新	実	務授業の有無 T	<u> </u>	0
対象コ-	ース	映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース 映画・映像カメラマンコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・泊	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概 授業の違	要、目的、 進め方	1. 撮影基礎を復習。 2. 特殊機材を使用しての実習 3. 上記を踏まえ、ストーリーの	の映像化			
学習目村 (到達日	_	撮影現場で他者とのイメージが対	共有出来、より正	確に具現化する		
	ト・教材・参・その他資料	 教科書は使用しない、必要な資料 	科はその都度配布			
回数		授業項目、内容		学習	『方法・準備学習	・備考
1 • 2	撮影基礎の復習Ⅰ			撮影機材の原理・	使用方法 I	
3 · 4	撮影基礎の復習			撮影機材の原理・	使用方法	
5 · 6	撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習丨	
7 · 8	撮影実習・技法			特殊機材を使用し	ての実習	
9 · 1 0				特殊機材を使用し		
11.12	撮影実習・技法Ⅳ			特殊機材を使用し	.ての実習Ⅳ	
13 · 14	撮影実習・技法 V			特殊機材を使用しての実習V		
15 · 16	撮影実習・技法VI			特殊機材を使用し	ての実習VI	
17 · 18	撮影実習丨			既存の映像の考察	: 及び再現	
19.20	撮影実習Ⅱ			既存の映像の考察	及び再現Ⅱ	
21 · 22	撮影実習Ⅲ			既存の映像の考察	及び再現Ⅲ	
23 · 24	撮影実習IV			既存の映像の考察	えな で 再現IV	
25 · 26	映像制作実習I			学生シナリオを元	にした映像制作実習	2 1
27 · 28	映像制作実習Ⅱ			学生シナリオを元	にした映像制作実習	3
29.30	映像制作実習Ⅲ			学生シナリオを元	たした映像制作実習	∄
31 · 32	映像制作実習IV			学生シナリオを元	たした映像制作実習	₹IV
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ
		%、実技試験25%、学習意欲10%		出来る事。学生自身	機材のセッティングおが最後までシナリオを	・書き、尚且、映像作品
	基準は、A(80点以 不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・レ(59点以下)・	として完成させる事 持って参加する事。	。王(の美賀垻日に出	応し、諦め∮ 真 性を
 実務経	験教員の経歴	<u> </u>	新潟で20年以「	<u> </u> 	 して活躍	

(2)				当你	映像メデイグ専		
対象学科	芯	動画・映像クリエイター科	科目名		編集		
担当教員		榎本 昭紀	実利	- 络授業の有無		0	
対象コ-	ース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース 映画・映像カメラマンコース 放送・制作コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概 授業の過 学習目 で 到達	票	 Macintoshの操作方法を知る Final Cut Proの操作方法を Final Cut Proで映像制作を ノンリニア編集の基礎を踏まえ、 技術パートとの関連性を学び、 	学ぶ 行う 、タイトル、短編I		inal Cut Proの使い	方を学習する。他の	
	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	対 方法・準備学習	3・備考	
1 · 2	Macintosh操作基	旋		 Macintoshの操作	方法、アカウントを	 を作成してみる	
3 · 4	ノンリニア編集基	碰		Final Cut Proの基本的な操作方法を学ぶ(各機能、画面構成、データ管理等)			
	ノンリニア編集基			成、データ管理等) Final Cut Proの基本的な操作方法を学ぶ(各機能、画面構			
		·		成、データ管理等) Final Cut Proの基本的な操作方法を学ぶ(各機能、画面構成、データ管理等) カット、シーンの考え方を学ぶ			
	ノンリニア編集基	礎Ⅲ ——————————		Final Cut Proの基本的な操作方法を学ぶ(各機能、画面構成、データ管理等)			
	編集基礎丨			カット、シーンの考え方を学ぶ			
	編集基礎Ⅱ 編集基礎Ⅲ			カット、シーンの繋ぎ方を学ぶ Final Cut Proを使用した音の整音方法を学ぶ			
	編集基礎IV				:mした目の歪目の :: 		
	編集基礎V				したタイトルロゴる		
	編集実践丨			短編映像制作(撮			
21 · 22	編集実践Ⅱ			短編映像制作(撮	影)		
23 · 24	編集実践Ⅲ			短編映像制作(編	i集)		
25 · 26	編集実践IV			短編映像制作(編集)			
27 · 28	編集実践V			短編映像制作(編集)			
29 · 30	編集実践VI			短編映像制作(オールラッシュ)			
31 · 32	編集実践VII			仕上げ:編集データの書出し、カット・リスト作成、コン フォーム、グレーディング			
3 3 · 3 4 3 5 · 3 6 3 7 · 3 8 3 9 · 4 0	塩製体サベ体ロ・	た素材としてCM・PVとして編集		10作品提出			
41 · 42	1収別文表 ご実用し	たが少と してUIVI・PV C して編集		I V I ⊢吅灰冚			
45 • 46							
47.48							
	≣亚4	 西方法・成績評価基準			 履修上の注意	5	
					//足 夕⊥ ▽ノ/土 た		
成績評価	35%、映像完成度: 基準は、A(80点以 不可とする。	35%、出席率30% .上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・			1に出席し、短編映像作品	
実務経	験教員の経歴	農水協 産業用ドロ	ーンの指導員、	ドローンパイ	ロット 映像ク	リエイター	

2	 		I	以 隊 グ ナイ ナ 寺		
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		編集		
担当教員	榎本 昭紀	実列	努授業の有無		0	
対象コース	動画クリエイターコース映画・テレビ制作コースSNS動画ビジネスコースドローン撮影技術コース映画・映像カメラマンコース放送・制作コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	 Final Cut Proの効率的な編 ドローンを使用した空撮実 他の技術パートとの関連性 	羽 白				
学習目標 (到達目標)	ノンリニア編集の基礎を踏まえ、 技術パートとの関連性を学び、			inal Cut Proの使い	方を学習する。他の	
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数			学習	 『方法・準備学習	 習・備考	
1・2編集基礎			ノンリニア編集の			
3 ・ 4 編集実践				像素材を使用し、タ	効率的な編集方法を実	
5・6 編集実践			践してみる。 学生が撮影した映	像素材を使用し、タ	効率的な編集方法を実	
			践してみる。 学生が撮影した映	像素材を使用し、タ	効率的な編集方法を実	
7 ・ 8 編集実践Ⅳ			践してみる。		来るよう映像作品を	
9 · 1 0 編集実践 V			データ化する			
11.12 空撮実習			ドローンを使用し	た空撮実習		
13·14 編集実践(応用組			エフェクトを使用	したタイトル制作、	動画加工を学ぶ	
15・16 編集実践(応用組				したタイトル制作、		
17・18 編集実践(応用組	· 		エフェクトを使用	したタイトル制作、	動画加工を学ぶ	
19・20 編集実践(応用組	扁)IV ————————————————————————————————————		修了制作で作成し	た映像作品の予告組	編を制作する。 	
21・22 編集実践(応用組			修了制作で作成した映像作品の予告編を制作する。 			
23・24 編集実践(応用組	扁)VI				編を制作する。 	
25・26 短編映像制作			短編映像制作を行う。			
27・28 短編映像制作			短編映像制作を行う。			
29・30 短編映像制作			短編映像制作を行う。 			
31·32 短編映像制作IV			対無吠豚巾川下で1]	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
3 7 · 3 8						
39.40						
撮影授業で使用し	した素材としてドラマとしてを編集		10作品提出			
4 1 · 4 2						
45.46						
47 · 48						
≣⊴				 履修上の注意	<u> </u>	
作品提出35%、映像完成原				/(女 ジ ユ <u>`</u> ヾ / / 上 で		
	ジ3570、 出席平3070 以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	積極的に実習に取り 短編映像作品を完成		に出席し、再現映像と、	
実務経験教員の経歴	農水協 産業用ドロ	ーンの指導員、	ドローンパイリ	コット 映像ク	リエイター	

対象学科		動画・映像クリエイター科	科目名		照明	
担当教員		五味澤 和宏・小峯	睦男実	L 務授業の有無		0
対象コース	ス	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース ドローン撮影技術コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・選択		必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、 授業の進		1. 照明機材の名前、種類、扱 2. 基本的な照明設計の考え方 3. 様々なシチュエーションの!	を学ぶ			
学習目標 (到達目標	票)	監督の意図した世界を表現出来	る照明スタッフを	育成する。		
	・教材・参その他資料	図解・実践 新版 映像ライティン	グ			
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考
1・2 照	明基礎I			照明機材の種類、	名前を学習する	
3 · 4 照	明基礎Ⅱ			照明機材の種類、	名前を学習する	
5 · 6 照	明基礎Ⅲ			電圧の計算方法を学ぶ		
7 · 8 照	明基礎IV			基本的な照明設計の考え方を学ぶ		
9・10 照	明基礎実践I			基本的な照明設計 る	に基づいて、照明	をセッティングしてみ
11・12 照	明基礎実践Ⅱ				に基づいて、照明	をセッティングしてみ
13・14 照目	明基礎実践Ⅲ				に基づいて、照明	をセッティングしてみ
15・16 映作	像照明基礎実践	I		朝の照明を作成し	てみる	
17・18 映作	像照明基礎実践	Ш		射し込みを表現し	てみる	
19・20 照	明基礎V			様々な場所の光を	数値化してみる	
21・22 映作	像照明基礎実践	III		夕焼けを作成してみる		
23・24 映作	像照明基礎実践	IV		夜を表現してみる		
25・26 映作	像照明基礎実践	V		感情表現を表して	みる	
27・28 映作	像照明基礎実践	VI		感情表現を表してみる		
29・30 映作	像照明基礎実践	VII		人物のライティングをしてみる		
31・32 照	明実践 I			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する		
33・34 照日	明実践Ⅱ			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する		
35・36 照	明実践Ⅲ			学んだ照明知識を	活かして、短編映作	象を制作する
37・38 照日	明実践Ⅳ			学んだ照明知識を	活かして、短編映作	象を制作する
39・40 照	明実践V			学んだ照明知識を	活かして、短編映作	象を制作する
41・42 講	平 			講評		
43.44 講評				講評		
45・46講	45・46 講評			講評		
47・48 講	平 ————————————————————————————————————			講評		
	 言平 (西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
成績評価基準 D評価を不可	可とする。	上)・B(70点以上)・C(60点以上)		果を用いた短編映像 授業の進め方は各学	作品を完成させるこ 年で相違はないが、	レベルと内容は異なる。
実務経験	教員の経歴	仮面ライダー	-シリーズ」等	のCM制作現場 [;]	を中心とする照	明技師

必修・選択 単位数 一 単位時間数 48時間 授業概要、目的、 授業の進め方 1. 照明機材の名前、種類、扱い方を学ぶ 2. 基本的な照明設計の考え方を学ぶ 3. 様々なシチュエーションの照明を作る 学習目標 (到達目標) 監督の意図した世界を表現出来る照明スタッフを育成する。 テキスト・教材・参 考図書・その他資料 図解・実践 新版 映像ライティング 回数 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1・2 照明基礎 I 照明機材の種類、名前を学習する 3・4 照明基礎 II 照明機材の種類、名前を学習する 5・6 照明基礎 II 電圧の計算方法を学ぶ 7・8 照明基礎 IV 基本的な照明設計の考え方を学ぶ 9・10 照明基礎実践 I 基本的な照明設計に基づいて、照明をセッティングしる						
対象コース	対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名	照明		
対象コース	担当教員		睦男実	 務授業の有無		0
設実展表、目的。	対象コース	映画・テレビ制作コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
2 基本的な原明設計の考え方を示3 現内なりチェエーションの原明を作る 2 基本的な原明設計の考え方を示3 現内なりチェエーションの原明を作る 3 世界で表現出来る原明スタッフを自成する。 日本	必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
(到達目標)		2. 基本的な照明設計の考え方	を学ぶ			
		監督の意図した世界を表現出来	そる照明スタッフを	育成する。		
1 - 2 即明基礎 照明基礎 照明機材の標準、名前を学習する		■図解・実践 新版 映像ライティン	ング			
3 - 4 別別基礎	回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考
第四基礎 電圧の計算方法を学ぶ	1・2 照明基礎			照明機材の種類、	名前を学習する	
7 - 8	3 ⋅ 4 照明基礎Ⅱ			照明機材の種類、	名前を学習する	
3・1 0 類明基礎実践	5 ⋅ 6 照明基礎Ⅲ			電圧の計算方法を学ぶ		
9 - 1 0 原明基礎実践 2	7 · 8 照明基礎IV			基本的な照明設計に基づいて、照明をセッティングしてみ		
12 - 12 照明基礎実践	9・10 照明基礎実	践丨		_	に基づいて、照明:	をセッティングしてみ
13 · 14 照明基確実践	11.12 照明基礎実	践		る 基本的な照明設計に基づいて、照明をセッティングしてみ る		
17-18 映像照明基礎実践	13.14 照明基礎実	践		基本的な照明設計	トに基づいて、照明:	をセッティングしてみ
19・20 照明基礎 「「「「「「「」」」」	15.16 映像照明基	礎実践丨		朝の照明を作成し	てみる	
21・22 映像照明基礎実践 夕焼けを作成してみる	17・18 映像照明基	礎実践Ⅱ		射し込みを表現し	てみる	
23・24 映像照明基礎実践	19·20 照明基礎V			様々な場所の光を	:数値化してみる	
25・26 快像照明基礎実践V 感情表現を表してみる	21・22 映像照明基	礎実践Ⅲ		夕焼けを作成して	みる	
27 - 28 映像照明基礎実践VI 感情表現を表してみる 29 - 30 映像照明基礎実践VII 人物のライティングをしてみる 31 - 32 照明実践	23・24 映像照明基	礎実践IV		夜を表現してみる		
29・30 映像照明基礎実践VII	25・26 映像照明基	礎実践 V		感情表現を表してみる		
31・32 照明実践 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 41・42 講評 講評 講評 講評 講評 講評 講評 講評 講評	27・28 映像照明基	礎実践VI		感情表現を表してみる		
対した照明知識を活かして、短編映像を制作する	29・30 映像照明基	礎実践Ⅶ		人物のライティングをしてみる		
35・36 照明実践 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する	31.32 照明実践			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する		
37・38 照明実践 V	33.34 照明実践			学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する		
39・40 照明実践 V 学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する 41・42 講評 講評 講評	35⋅36 照明実践Ⅲ			学んだ照明知識を	:活かして、短編映作	象を制作する
4 1 · 4 2 講評 講評 4 3 · 4 4 講評 講評 4 5 · 4 6 講評 講評 4 7 · 4 8 講評 講評 実技試験70%、出席率30% 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつき、果を用いた短編映像作品を完成させること。投業の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異々の	37·38 照明実践IV			学んだ照明知識を	活かして、短編映作	象を制作する
##	39·40 照明実践V			学んだ照明知識を	活かして、短編映作	象を制作する
# 講評 # 講評 # 講評 # 講評 # 講評 # 講評 #	41・42 講評			講評		
## 講評 講評 講評	43・44 講評	3 · 4 4 講評				
評価方法・成績評価基準 履修上の注意 実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・提案の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異れ	45・46 講評	4 6 講評				
実技試験70%、出席率30% 積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつる 果を用いた短編映像作品を完成させること。 授業の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異れ	47・48 講評			講評		
積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ電機に関係にある。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・授業の進め方は各学年で相違はないが、レベルと内容は異れ		評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
			<u>-</u>)・D(59点以下)・	果を用いた短編映像	象作品を完成させるこ	と。
	D評価を不可とする。			·····································		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
実務経験教員の経歴 「仮面ライダーシリーズ」等のCM制作現場を中心とする照明技師	実務経験教員の	経歴 「仮面ライダー	 ーシリーズ」等	のCM制作現場	を中心とする照	明技師

対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	照明				
担当教	員	五味澤 和宏・小峯	睦男	実務	8授業の有無		0	
対象学	科	SNS動画ビジネスコース YouTubeクリエイターコース	対象学年		1	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数		_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 照明機材の名前、種類、扱 2. 基本的な照明設計の考え方 3. 様々なシチュエーションの	を学ぶ					
学習目		監督の意図した世界を表現出来	る照明スタッフ	を育	育成する。			
	ト・教材・参	図解・実践 新版 映像ライティン	・ グ					
回数		授業項目、内容			学習	方法・準備学習	習・備考	
1	照明基礎				照明機材の種類、	名前を学習する		
2	照明基礎Ⅱ				照明機材の種類、	名前を学習する		
3	照明基礎Ⅲ				電圧の計算方法を学ぶ			
4	照明基礎IV				基本的な照明設計の考え方を学ぶ			
5	照明基礎実践 I				基本的な照明設計 る	に基づいて、照明	をセッティングしてみ	
6	照明基礎実践Ⅱ				基本的な照明設計	に基づいて、照明	をセッティングしてみ	
7	照明基礎実践Ⅲ				基本的な照明設計に基づいて、照明をセッティングしてみる 基本的な照明設計に基づいて、照明をセッティングしてみる			
8	映像照明基礎実践	; I			<u>○</u> 朝の照明を作成し	てみる		
9	映像照明基礎実践	; II			射し込みを表現し	てみる		
10	照明基礎V				様々な場所の光を	数値化してみる		
11	映像照明基礎実践	;III			夕焼けを作成して	みる		
12	映像照明基礎実践	IV			夜を表現してみる			
13	映像照明基礎実践	ž V			感情表現を表してみる			
14	映像照明基礎実践	§VI			感情表現を表してみる			
15	映像照明基礎実践	VII			人物のライティングをしてみる			
16	照明実践I				学んだ照明知識を	活かして、短編映作	象を制作する	
	[平1]	 価方法・成績評価基準		1			三	
実技試験	70%、出席率30%							
成績評価		(上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)		果を用いた短編映像	作品を完成させるこ	目に出席し、かつ音響効と。 レベルと内容は異なる。	
実務経	験教員の経歴	「仮面ライダー	-シリーズ」	等(のCM制作現場	を中心とする照	明技師	

対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	照明				
担当教	員	五味澤 和宏・小峯	睦男	務授業の有無		0		
対象学	科	SNS動画ビジネスコース YouTubeクリエイターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期		
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	1. 照明機材の名前、種類、扱 2. 基本的な照明設計の考え方 3. 様々なシチュエーションの	を学ぶ					
学習目		監督の意図した世界を表現出来	る照明スタッフを	を育成する。				
	ト・教材・参	図解・実践 新版 映像ライティン	ノ グ					
回数		 授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考		
1	照明基礎丨			照明機材の種類、	名前を学習する			
2	照明基礎Ⅱ			照明機材の種類、	名前を学習する			
3	照明基礎Ⅲ			電圧の計算方法を	電圧の計算方法を学ぶ			
4	照明基礎IV			基本的な照明設計	基本的な照明設計の考え方を学ぶ 基本的な照明設計に基づいて、照明をセッティングしてみ			
5	照明基礎実践I			基本的な照明設計	-に基づいて、照明	をセッティングしてみ		
6	照明基礎実践II				-に基づいて、照明	をセッティングしてみ		
7	照明基礎実践Ⅲ				-に基づいて、照明	をセッティングしてみ		
8	映像照明基礎実践	; I		朝の照明を作成し	てみる			
9	映像照明基礎実践	; II		射し込みを表現し	てみる			
10	照明基礎V			様々な場所の光を	数値化してみる			
11	映像照明基礎実践	;III		夕焼けを作成して	夕焼けを作成してみる			
12	映像照明基礎実践	IV		夜を表現してみる	夜を表現してみる			
13	映像照明基礎実践	S V		感情表現を表してみる				
14	映像照明基礎実践	:VI		感情表現を表してみる				
15	映像照明基礎実践	VII		人物のライティン	人物のライティングをしてみる			
16	照明実践丨			学んだ照明知識を	学んだ照明知識を活かして、短編映像を制作する			
	[平4	 価方法・成績評価基準			 履修上の注意			
実技試験		四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、四、			/IX Iン <u> </u>	<u>.</u>		
成績評価		(上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)	果を用いた短編映像	像作品を完成させるこ	目に出席し、かつ音響効 と。 レベルと内容は異なる。		
実務経	経験教員の経歴	「仮面ライダー	-シリーズ」等	FのCM制作現場	を中心とする照	明技師		

2	_		国際	映像メディア専	門学校 シラバス
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		ドローン撮影簿	超
担当教員	榎本 昭紀	実	- 努授業の有無		0
対象コース	ドローン撮影技術コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 無人航空機の安全な操縦法で 2. 無人航空機を使用した映像が 3. 無人航空機の操作、講義		格の取得		
学習目標 (到達目標) 	無人航空機を使用した映像制作を	が出来る、資格の	取得		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	DJI CAMP技能認定専用テキス	ト、プリント			
回数	授業項目、内容		学習	 『方法・準備学習	習・備考
1 · 2 無人航空機 安全	≧運用の概要		DJI CAMP技能記	忍定専用テキスト使	用 用
3・4 無人航空機に関わ	る法律や決め事		DJI CAMP技能記	忍定専用テキスト使	用
5・6 無人航空機の構造	5と仕組み		DJI CAMP技能記	忍定専用テキスト使	·用
7・8 電波の知識			DJI CAMP技能記	忍定専用テキスト使	·用
9・10 カメラの知識			DJI CAMP技能記	忍定専用テキスト使	 用
11・12 自然環境による影	泛響		DJI CAMP技能記	忍定専用テキスト使	·····································
13~47 安全飛行の訓練			ドローンを使用し	た操縦訓練	
48 テスト			ドローンを安全に	取り扱えるか、総合	合テスト
⊒π				 履修上の注意	
		,		/仮 ダ ユエ ۷ノ /土 馬	خ ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
	:人航空機の操作35%、出席率30% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)		積極的に実習に取り	組み、全ての実習項	目に出席
実務経験教員の経歴	農水協 産業用ドロ・	ーンの指導員、	ドローンパイ	ロット 映像ク	リエイター

② 国際映像メディア専門学校 シラバス					
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		ドローン撮影簿	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
担当教員	榎本 昭紀	実	・		0
対象コース	ドローン撮影技術コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 無人航空機の安全な操縦法 2. 無人航空機を使用した映像 3. 無人航空機の操作、講義		格の取得		
学習目標 (到達目標)	無人航空機を使用した映像制作だ	が出来る、資格の	取得		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	DJI CAMP技能認定専用テキス	ト、プリント			
回数			学習	 『方法・準備学》	 習・備考
1・2無人航空機 安全	≧運用の概要		DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	i用
3・4無人航空機に関わ	つる法律や決め事		DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	
5・6 無人航空機の構造	5と仕組み		DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	·····································
7 ・ 8 電波の知識			DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	
9・10 カメラの知識			DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	·用
11・12 自然環境による影	響		DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	i用
13・14 安全飛行の訓練			ドローンを使用した操縦訓練		
15・16 安全飛行の訓練Ⅱ			ドローンを使用し	た操縦訓練	
17・18 安全飛行の訓練	I		ドローンを使用し	た操縦訓練	
19・20 安全飛行の訓練N	/		ドローンを使用し	た操縦訓練	
21・22 安全飛行の訓練 V	1		ドローンを使用し	た操縦訓練	
23・24 飛行に向けた確認	思事項		DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	用
25・26 法律			DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	Ī用
27・28 点検			DJI CAMP技能認	忍定専用テキスト使	E用
29~48 実践・実技			ドローンを使用し	た操縦訓練、検定	用訓練、本番
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
	人航空機の操作35%、出席率30% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)		積極的に実習に取り	組み、全ての実習項	目に出席
実務経験教員の経歴	農水協産業用ドロ・	ーンの指導員、	ドローンパイ	ロット 映像ク	リエイター

担当教員 対象コース 必修・選択					
		実績	務授業の有無		0
必修・選択	YouTubeクリエイターコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
4	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概要、目的、 授業の進め方	 YouTube制作 YouTube定期的配信の実施 視聴回数の獲得 				
学習目標 (到達目標)	YouTubeでバズる作品作り(再生	上回数を上げ収益	が得られる)		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	 教科書は使用しない、必要な資料 	料はその都度配布			
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1・2 YouTubeとは何か	?		歴史・現状・収益	5の方法など	
3 · 4 YouTubeに作品を	アップする		手順を説明した後	と、作品をアップして	みる
5・6 YouTube作品につ	いて		機材の説明およて	が作品と特長	
7・8 その1 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影		
9・10 その1 YouTube	作品を作ってみよう!		編集		
11·12 その1 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	เอ	
13·14 その1 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
15·16 その2 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影		
17·18 その2 YouTube	作品を作ってみよう!		編集		
19·20 その2 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	เอ	
21・22 その2 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
23・24 バズる企画とは			企画説明		
25・26 バズる企画とは			トーク内容		
27・28 バズる企画とは			創意工夫		
29·30 その3 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影		
31・32 その3 YouTube	作品を作ってみよう!		編集		
33·34 その3 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	เอ	
35·36 その3 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
37・38 その4 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影		
39·40 その4 YouTube	作品を作ってみよう!		編集		
41・42 その4 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	ເວ	
43·44 その4 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	゚゚゚゚゚゚゚	
45・46 学期末テスト (総	45・46 学期末テスト (総評)		これまでの作品鑑		
47・48 学期末テスト (総	明末テスト (総評) これまでの作品鑑賞と評価			 監賞と評価	
言平1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
YouTube4作品合計80%、学	≠期末テスト20%				
成績評価基準は、A(80点以 D評価を不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	16回すべての授業に	こ出席し、イベントの企	画配信を行う事
実務経験教員の経歴	新	潟での様々な	イベント、配信	スタッフ	

対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	配信番組制作			
担当教	員	菅家 将次		務授業の有無		0	
対象コ		YouTubeクリエイターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数 	_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. YouTube制作 2. YouTube定期的配信の実施 3. 視聴回数の獲得					
学習目		YouTubeでバズる作品作り(再生	E回数を上げ収益	が得られる)			
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	斗はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1 · 2	YouTubeとは何か	?		歴史・現状・収益	益の方法など		
3 · 4	YouTubeに作品を	アップする		手順を説明した征	後、作品をアップして	こみる	
5 · 6	YouTube作品につ	いて		機材の説明および	び作品と特長		
7 · 8	その1 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影			
9 · 1 0	その1 YouTube	作品を作ってみよう!		編集			
11.12	その1 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	hる		
13 · 14	その1 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	ップ		
15.16	その2 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影			
17 · 18	その2 YouTube	作品を作ってみよう!		編集			
19.20	その2 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	h3		
21 · 22	その2 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	ップ		
23 · 24	作品チェック			これまでの作品に	こ対する再生回数の掤	長り返る	
25 · 26	作品チェック			これまでの作品に	こ対する再生回数の掤	長り返る	
27 · 28	作品チェック			これまでの作品に対する再生回数の振り返る			
29 · 30	その3 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影			
31 · 32	その3 YouTube	作品を作ってみよう!		編集			
33 · 34	その3 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	hる		
35.36	その3 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	ップ		
37.38	その4 YouTube	作品を作ってみよう!		撮影			
39 • 40	その4 YouTube	作品を作ってみよう!		編集			
41 · 42	その4 YouTube	作品を作ってみよう!		効果音などを入れ	n a		
43 · 44	その4 YouTube	作品を作ってみよう!		YouTubeへのアッ	ァ フプ		
45 · 46	6 学期末テスト (総評)			これまでの作品針	 鑑賞と評価		
4 7 · 4 8	学期末テスト(総	評)		これまでの作品釒	<u>ーーーー</u> 鑑賞と評価		
	====	//			尼佐 上 6 公立		
		価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価	4作品合計80%、管 基準は、A(80点以 不可とする。	学期末テスト20% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	16回すべての授業に	に出席し、イベントの企	画配信を行う事	
実務経	経験教員の経歴	新	潟での様々な	・ イベント、配信	言スタッフ		

対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名	Webデジタル実習			
担当教員	神田 幸司	実	 務授業の有無		×	
対象コース	SNS動画ビジネスコース YouTubeクリエイターコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	ソフト・アプリケーションを使 1. 動画制作 (AR、VR) 2. 画像制作、動画制作 (AI)	用した映像作成実	習			
学習目標 (到達目標)	様々なソフト・アプリケーショ	ン、AIを使用した	コンテンツ作成が	可能な人材育成		
テキスト・教材 考図書・その他資	プリント配布					
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1・2 デジタルにお	おける映像制作①		AR、VR アプリ	を使用		
3・4 デジタルにお	おける映像制作②		AR、VR アプリ			
5・6 デジタルにお	おける映像制作③		AR、VR アプリ	を使用		
7・8 デジタルにお	おける映像制作④		AR、VR アプリを使用			
9・10 AIを使用した	た画像・動画生成①		ミッドジャーニー	-、ステイブルデフ <i>:</i>	ュージョン等	
11・12 AIを使用した	に画像・動画生成②		ミッドジャーニー	- 、ステイブルデフ <i>=</i>	ュージョン等	
13・14 AIを使用した	た画像・動画生成③		ミッドジャーニー、ステイブルデフュージョン等			
15・16 AIを使用した	た画像・動画生成④		ミッドジャーニー	-、ステイブルデフ <i>=</i>	ュージョン等	
17・18 AIを使用した	た音楽制作①		音楽制作アプリを	:使用		
19・20 AIを使用した	·音楽制作②		音楽制作アプリを	:使用		
21~47 制作			AI、各アプリケー	・ションを使用し動區	画制作を行う	
48 講評			講師による講評			
	評価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>-</u>	
ソフト使用上達度40%	%、課題提出50%、学習意欲10%					
成績評価基準は、A(8 上)・D評価を不可とす	80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上 する。)·D(59点以	自身が知っている、 合って知識・技術を	使用出来るフリーソフ 共有しましょう!	7トは授業内で教えて	
実務経験教員の総	圣歴					

2	т т		国際	映像メディア専		
対象学科 	動画・映像クリエイター科	科目名		Webデジタル実 T	· 沼 : 百 	
担当教員 ————————	│ 神田 幸司 ├── ─ ──		実務授業の有無	<u> </u>	×	
対象コース	SNS動画ビジネスコース YouTubeクリエイターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	ソフト・アプリケーションを使F 1. 動画制作(AR、VR) 2. 画像制作、動画制作(AI)	用した映像作品	 文実習			
学習目標 (到達目標)	様々なソフト・アプリケーション	ン、AIを使用し	したコンテンツ作成が	可能な人材育成		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント配布					
回数	授業項目、内容		学	習方法・準備学習	・備考	
1・2 デジタルにおける	る映像制作①		AR、VR アプリ	を使用		
3・4 デジタルにおける	る映像制作②		AR、VR アプリ	 を使用		
5・6 デジタルにおける	る映像制作③		AR、VR アプリ	AR、VR アプリを使用		
7・8 デジタルにおける	る映像制作④		AR、VR アプリ	を使用		
9・10 AIを使用した画作	象・動画生成①		ミッドジャーニ-	- 、ステイブルデフ <i>=</i>	ュージョン等	
11・12 AIを使用した画作	象・動画生成②		ミッドジャーニ-	−、ステイブルデフ <i>=</i>	ュージョン等	
13・14 AIを使用した画作	象・動画生成③		ミッドジャーニ-	ミッドジャーニー、ステイブルデフュージョン等		
15・16 AIを使用した画作	象・動画生成④		ミッドジャーニ-	ー、ステイブルデフ <i>=</i>	ュージョン等	
17・18 AIを使用した音楽	柴制作①		音楽制作アプリを	を使用		
19・20 AIを使用した音楽	柴制作②		音楽制作アプリを	を使用		
21~47 制作			AI、各アプリケー	-ションを使用し動画	画制作を行う	
48 講評			講師による講評			
評	石価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ī.	
	果題提出50%、学習意欲10% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以	自身が知っている、 合って知識・技術を	使用出来るフリーソフ を共有しましょう!	7トは授業内で教えて	
上)・D評価を不可とする。						
 実務経験教員の経歴			I			

(2)				国際		門字仪 ンフハス
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名		演習 	
担当教	員	広川一義	実	務授業の有無		0
対象コ	ース	動画クリエイターコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・:	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 自ら映像を監督し、演出出: 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみ	出が出来る	· 3		
学習目		映像演出の概念、シナリオから 方・説明的な表現の排除等を実]の関係を理解し、:	表現方法のアレンシ	ジ、強調・演出の付け
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	ī		
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考
1	演出法			映画・映像作品鑑	賞をし、カット割	り、演出法を学ぶ
2	演出法Ⅱ			映画・映像作品鑑	賞をし、カット割	り、演出法を学ぶ
3~5	企画・演出I			班編成→企画制作	:	
6~10	企画・演出Ⅱ			企画制作		
11	企画・演出Ⅲ			絵コンテ制作		
12	企画・演出VI			絵コンテ制作		
13				作品決定、企画内	 容修正	
14				作品決定、企画内	 容修正	
	演出演習Ⅲ				キャスティング・	 ロケハン等進備
	演出演習IV			美術・衣装・小道		
	演出演習V					— # /lz
	演出演習VI				し、映像制作を行う	
	<u> </u>				ン、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
40	光衣			語引 か ひ 、 グトロ	グストを描いての	弗 計 女
	≘ਜ਼ਾ				履修上の注意	<u> </u>
					/復 多⊥ 少/土息	جر
成績評価		舞台制作35%、出席率30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以		り組み、全ての実習」	意見をのべ積極的にアイ 頁目に出席し、企画の実
実務経	経験教員の経歴	映像制作	ー ケプロダクショ	<u> </u> ンにて10年番約	<u></u> 組制作に携わる	
		Ī				

(2)		,				門字仪 ンフハス
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名		演習	
担当教	員	広川一義	実	務授業の有無		0
対象コ	ース	動画クリエイターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 自ら映像を監督し、演出出: 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみる	出が出来る	† 3		
学習目 (到達		映像演出の概念、シナリオから 方・説明的な表現の排除等を実施]の関係を理解し、:	表現方法のアレンシ	ジ、強調・演出の付け
	ト・教材・参 ・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	Ī		
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考
1	演出法			映画・映像作品鑑	賞をし、カット割	り、演出法を学ぶ
2	演出法Ⅱ			映画・映像作品鑑	賞をし、カット割	り、演出法を学ぶ
3~5	企画・演出I			班編成→企画制作	:	
6~10	企画・演出Ⅱ			企画制作		
11	企画・演出Ⅲ			絵コンテ制作		
12	企画・演出VI			絵コンテ制作		
13				作品決定、企画内	 容修正	
	演出演習Ⅱ			作品決定、企画内		
	演出演習Ⅲ			+	キャスティング・	 ロケハン等進備
	演出演習IV			美術・衣装・小道		
	演出演習V					— # /lz
	演出演習VI					
					C、吹 (
48	発表 			語別わよい、外部		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	<u>≡</u> √77.				履修上の注意	五
_					/皮 シエッ/工元	<u> </u>
成績評価		舞台制作35%、出席率30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以		り組み、全ての実習」	意見をのべ積極的にアイ 頁目に出席し、企画の実
実務経		映像制作	ーーー 「「アロダクショ	<u> </u> ンにて10年番約	 狙制作に携わる	
		I.				

		Г Т		T		
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	3	/ナリオプランニ •	-ング
担当教.	員	岩佐陽一	実	務授業の有無		0
対象コ [.]	ース	動画クリエイダーコース 動画・テレビ制作コース Web配信技術者コース ドローン撮影技術コース YouTubeスタッフコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
	要、目的、 進め方	 シナリオの基本 ストーリーの作り方 原作からの脚本起こし 				
学習目 ⁷ (到達		シナリオが理解出来る				
	 ト・教材・参					
考図書	・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	科はその都度配布	Ī		
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1	シナリオとは何か	?シナリオ・台本・脚本の違い		プリント配布		
2	シナリオルール(表紙・ト書き、台詞位置、20×20	マス使用など)	プリント配布		
3	ストーリーの作り	方(ジャンル別)		プリント配布		
4	ストーリーの作り	方(登場人物について)		プリント配布		
5	ストーリーの作り	方(設定場所・時代について)		プリント配布		
6	ストーリーの作り	方(構成 起承転結)		プリント配布		
7	ストーリーの作り	方(シーンごとのメリハリ)		プリント配布		
8	四コマ漫画の作成	(課題テスト)		これまでの学習が	・ 生かされtいるかを	チェック
9	ラジオドラマ1分「 授業中に作成、随	間シナリオ作成 時、指導・アドバイスあり		期日までに提出		
11	ラジオドラマ5分『 授業中に作成、随	間シナリオ作成 時、指導・アドバイスあり		期日までに提出		
13 14	ラジオドラマ10分 授業中に作成、随	ト間シナリオ作成 時、指導・アドバイスあり		期日までに提出		
15 16	10分ラジオドラマ	'を収録し、完成度を評価する		評価		
		価方法・成績評価基準			履修上の注意	
戈績評価		ラジオドラマシナリオ40%、学習 (上)・B(70点以上)・C(60点以上)			・シナリオを書き、尚且 f任を持って参加する事	
□ 7 6 45		放送・音楽業界の	 現場に7年	<u> </u> 専門学校 <i>にて</i> 29	 B年の指導 MRA	 、ホルダー

2)						111/2 2 2
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	٤	/ナリオプランニ •	-ング
担当教	員	岩佐陽一	実	務授業の有無	ļ	0
対象コ	ース	動画グリエイターコース 動画・テレビ制作コース Web配信技術者コース ドローン撮影技術コース YouTubeスタッフコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・:	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
	要、目的、 進め方	 シナリオ作り ト書き・台詞の書き方 シナリオ作り 				
学習目		シナリオを元に映像制作が出来	.3			
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	ī		
	・その他資料		22.40 11	<u></u>	3十十 <i>准</i> /# 坐豆	1
回数 1		授業項目、内容			習方法・準備学習	′・1偏考
1			プリント配布			
				プリント配布		
3	テレビ番組台本に			プリント配布		
4		から映像を作る基本 		プリント配布		
5	ト書きから画コン	イア作成		プリント配布		
6						
7	拉 拳 4	映像ドラマ15分間シナリオ作成 中に作成、随時、指導・アドバイ			期日までに提出	
8	7文未 7	i ve I <i>FM</i> A、IZU时、旧等・プトハイ	<i>Λ</i>			
9						
10						
11						
12		15分シナリオで映像制作			期日までに提出	
13						
14						
15		完成試写会		評価		
16		76/76# 0 9 12		is 1 lives		
		価方法・成績評価基準			 履修上の注意	Ţ
		⊰像ドラマシナリオ40%、学習意行			ジナリオを書き、尚且	
	i基準は、A(80点り 不可とする。	以上)·B(70点以上)·C(60点以上)・D(59点以下)・	させる事。諦めず責	任を持って参加する事	
実務経	経験教員の経歴	放送・音楽業界の)現場に7年、	・ 専門学校にて28	B年の指導、MBA	ホルダー

				Ш130	2(12(2)) 1) (1	1 1 子仪 ノノハス
対象学	— 科	動画・映像クリエイター科	科目名		ファシリテーシ	ョン
担当教	員	矢頭 勲	身	民務授業の有無		×
対象コ	ース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース YouTubeクリエイターコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 聞く・話すを円滑に行う知 2. 敬語(丁寧語・謙譲語・尊 3. 場に応じた正しい対応力を	敬語)を理解す			
学習目		社会人に向けてのコミュニケー を得る。	ション能力の必	要性を理解し、仕事	などの場で、人間	関係を構築出来る知識
	ト・教材・参	参考書「サーティファイ主催	コミュニケーシ	ョン能力検定初級」	(問題集含む)	
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学	3・備考
1	コミュニケーショ	ンとは?		P2 コミュニケ-	-ションの必要性を	考える
2	聞く力			P6~P9 目的に	即して聞く	
3	聞く力			P10~P14 傾聴	・質問する	
4	話す力			P15~P17 目的	を意識する	
5	話す力			P18~P22 話を	組み立てる	
6	話す力			P23~P29 言葉	を選び抜く	
7	話す力			P30~P35 表現	・伝達する	
8	実践基礎1			P36~P39 来客.	 応対	
9	実践基礎2			P40~P43 電話	忘対	
10	実践基礎3			P44~P48 アポ	イントメント・訪問	引・挨拶
11	実践基礎4			P49~P54 情報:	共有の重要性	
12	実践基礎5			P55~P59 チー	ム・コミュニケーシ	/ョン
13	実践応用1			P60~P65 接客	・営業	
14	実践応用2			P66~P71 クレ	ーム対応	
15	実践応用3			P72~P77 会議	・取材・ヒヤリング	Ţ
16	実践応用4			P78~P83 面接		
	評1	価方法・成績評価基準 			履修上の注意	
成績評価 上)・D評	5基準は、A(80点り F価を不可とする。	5%、実技試験25%、学習意欲10以上)・B(70点以上)・B(70点以上)・C(60点以上		たコミュニケーショ		。また、特に必要と感じ ら進めて行くことで、よ 履修してください。
	経験教員の経歴					

				(成) が が が が 寸 が 寺	「一子似 ノノハ		
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		PC&Webリテラ	シー		
担当教員	神田 幸司		実務授業の有無		×		
対象コース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期		
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間		
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 情報リテラシーに関する知 2. パソコンに関する基礎知識 3. アプリケーションに関する						
一 学習目標 (到達目標)	PC, SNSに関する基礎知識 ビジネスソフトを中心に基礎使						
テキスト・教材・参							
考図書・その他資料	プリント配布						
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考		
1・2 情報リテラシー			情報を正しく選択	マレ解釈する			
3・4 情報リテラシー			ネット使用の注意	点点			
5・6 Twitterについて			セルフプロモーシ	/ョン活用法			
7 · 8 Instagram			セルフプロモーシ	セルフプロモーション活用法			
9·10 Youtube			セルフプロモーシ	/ョン活用法			
11・12 ソフト (Word)			文章作成				
13・14 ソフト (Word)			文章作成				
15・16 ソフト (Excel)			表計算				
17・18 ソフト (Excel)			表計算				
19・20 ソフト(PowerP	oint)		プレゼンテーショ	· ン			
21・22 ソフト(PowerP	oint)		プレゼンテーショ	· ン			
23・24 フリーソフト紹介	↑および使用方法① 		画像・動画				
25・26 フリーソフト紹介	トおよび使用方法②		画像・動画				
27・28 フリーソフト紹介	トおよび使用方法③		画像・動画				
29・30 フリーソフト紹介	トおよび使用方法④		音楽・サウンド編	幕集			
31・32 フリーソフト紹介	トおよび使用方法⑤		音楽・サウンド編	集			
	And the second s				-		
======================================	価方法・成績評価基準			履修上の注意 			
	果題提出50%、学習意欲10% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以	自身が知っている、 合って知識・技術を	使用出来るフリーソフ :共有しましょう!	7トは授業内で教えて		
実務経験教員の経歴				<u> </u>	-		

<u></u>	4T 14/2 CU - 11 21	11 F 6				
対象学科 	動画・映像クリエイター科			PC&Webリテラ T		
担当教員 ————————————————————————————————————	神田幸司動画クリェイターコース	実	務授業の有無 T		×	
対象コース	映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	ソフト・アプリケーションを使1. 画像・動画関係2. 音楽・音響関係3. その他(CAD、イラスト・					
学習目標 (到達目標)	様々なソフト・アプリケーショ	ンを使用したコン	テンツ作成が可能	な人材育成		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント配布					
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	骨・備考	
1・2 画像・イラストン	/フトについて①		illustrator · photo	oshop		
3・4 画像・イラストン	プトについて②		illustrator • photo	oshop		
5・6 画像・イラストン	/フトについて③		illustrator · photo	oshop		
7・8 画像・イラストン	/フトについて④		illustrator · photoshop			
9・10 動画ソフトについ	って①		Final Cut Pro			
11・12 動画ソフトについ	いて②		Final Cut Pro			
13・14 動画ソフトについ	NT3		Final Cut Pro			
15・16 動画ソフトについ	NT(4)		Final Cut Pro			
17・18 レコーディングソ	フトについて①		Protools			
19・20 レコーディングソ	フトについて②		Protools			
21・22 レコーディングソ	フトについて③		Protools			
23・24 レコーディングソ	フトについて④		Protools			
25・26 アニメーション制]作		フリーソフト活用			
27・28 アニメーション制	1作		フリーソフト活用]		
29・30 アニメーション制	1作		フリーソフト活用]		
31・32 アニメーション	ン制作		フリーソフト活用			
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	題提出50%、学習意欲10% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)·D(59点以	自身が知っている、 合って知識・技術を	使用出来るフリーソフ 共有しましょう!	7トは授業内で教えて	
大伽性獣羽貝の経歴						

(2)				当你	以 像 グ ナイ ナ 寺	子仪 ンプハ	
対象学科	斗	動画・映像クリエイター科	科目名		卒業進級制作	F	
担当教員		広川 一義	実	務授業の有無		0	
対象コ-	ース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース YouTubeクリエイターコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・流	選択	必修	単位数	_	単位時間数	260時間	
授業概 授業の違	要、目的、 進め方	1. 各学年集大成の学習発表の5 2. 制作プロセスの経験と発表 3. 各自、これまで学んだこと		o本番までを実施			
学習目標 (到達日		全期授業の集大成としての映像作	作品の制作およて	上映会			
	ト・教材・参・その他資料	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは酉	己布します。			
日数 (7コマ)		授業項目、内容		学習	『方法・準備学習	・備考	
1 · 2	企画書立案・協議	<u></u>		学生事の作品企画	ī(テーマ・ジャン <i>)</i>	レ・内容など)	
3 · 4	企画書立案・協議	<u> </u>		学生事の作品企画	[(テーマ・ジャン)	ル・内容など)	
5 · 6	企画書立案・協議	[学生事の作品企画](テーマ・ジャン)	ル・内容など)	
7 · 8	企画書立案・協議	IV		学生事の作品企画 (テーマ・ジャンル・内容など)			
9 · 1 0	シナリオ制作・修	正丨		シナリオ制作・チェック・修正			
11 · 12	シナリオ制作・修	正川		シナリオ制作・チェック・修正			
13 · 14	シナリオ制作・修	正Ⅲ		シナリオ制作・チ	ェック・修正		
15 · 16	シナリオ制作・修	正IV		シナリオ制作・チェック・修正			
17 · 18	シナリオ制作・修	正V		シナリオ制作・チ	ェック・修正		
19 · 20	学内プレゼン・班	編成		シナリオ・企画書	を基にしたプレゼン	ノおよび班分け	
21 · 22	制作準備I			撮影・スケジュー	・ル・許可取り		
23 · 24	制作準備Ⅱ			撮影・スケジュー	ル・許可取り		
25 · 26	制作準備Ⅲ			撮影・スケジュー	・ル・許可取り		
27 · 28	制作実践Ι			撮影・編集・MA			
29 · 30	制作実践Ⅱ			撮影・編集・MA			
31 · 32	制作実践Ⅲ			撮影・編集・MA			
33 · 34	制作実践IV			撮影・編集・MA			
35 · 36	編集チェック・修			撮影・編集・MA	のチェックおよび、	修正	
37 · 38	最終仕上げ			撮影・編集・MA	最終的な仕上げ		
39 · 40	作品上映会			講師および、外部	『ゲストを招いての記	講評会	
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
成績評価:		捗状況20%、学習意欲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)	最後まで行う事。	映像制作を体験しなた映し、内部だけでな		
宝 宝	 験教員の経歴	肿 像制	 乍プロダクシ	<u> </u> ョンにて10年番約	 狙制作に携わる		
人切性	がなみい性症	4人			エニュー トーコンティン (へ)		

対象学	—————————————————————————————————————	動画・映像クリエイター科	科目名		卒業進級制作		
担当教		広川 一義	· ·	<u>L</u> 務授業の有無		0	
対象コ		動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース SNS動画ビジネスコース ドローン撮影技術コース YouTubeクリエイターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・:	選択	必修	単位数	_	単位時間数	260時間	
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	1. 各学年集大成の学習発表のは 2. 制作プロセスの経験と発表 3. 各自、これまで学んだことを		本番までを実施			
学習目		全期授業の集大成としての映像作	乍品の制作および.	上映会			
	ト・教材・参	映像制作に必要なテープ、画コ	ンテ用紙などは配	布します。			
日数 (7コマ)		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1 · 2	企画書立案・協議	į		学生事の作品企画	j (テーマ・ジャン)	レ・内容など)	
3 · 4	企画書立案・協議	11		学生事の作品企画	j (テーマ・ジャン)	レ・内容など)	
5 · 6	企画書立案・協議	[]		学生事の作品企画(テーマ・ジャンル・内容など)			
7 · 8	企画書立案・協議	IV		学生事の作品企画(テーマ・ジャンル・内容など)			
9 · 1 0	シナリオ制作・修	正丨		シナリオ制作・チェック・修正			
11.12	シナリオ制作・修	正川		シナリオ制作・チェック・修正			
13 · 14	シナリオ制作・修	正Ⅲ		シナリオ制作・チェック・修正			
15.16	シナリオ制作・修	正IV		シナリオ制作・チェック・修正			
17 · 18	シナリオ制作・修	正V		シナリオ制作・チ	ェック・修正		
19 · 20	学内プレゼン・班	編成		シナリオ・企画書	を基にしたプレゼン	/および班分け	
21 · 22	制作準備I			撮影・スケジュー	ル・許可取り		
23 · 24	制作準備Ⅱ			撮影・スケジュー	ル・許可取り		
25 · 26	制作準備Ⅲ			撮影・スケジュー	ル・許可取り		
27 · 28	制作実践I			撮影・編集・MA			
29 · 30	制作実践Ⅱ			撮影・編集・MA			
31 · 32	制作実践Ⅲ			撮影・編集・MA			
33 · 34	制作実践IV			撮影・編集・MA			
35 · 36	編集チェック・修	Œ		撮影・編集・MAG	のチェックおよび、	修正	
37 · 38	最終仕上げ			撮影・編集・MA	最終的な仕上げ		
39 · 40	作品上映会			講師および、外部	ゲストを招いての記	講評会	
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価		捗状況20%、学習意欲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	最後まで行う事。		がら、自分自身の役割 く外部評価を受ける事	
宝淼怒	 疑教員の経歴		゚゙゚゙゙゙゠ヷ゚ヿ <i>゙</i> ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヷ゚ヾ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚	<u> </u> ンにて10年番約	日制作に進わる		
天份稻	一般我貝切だ歴	吹逐刑1	トノログソンヨ	ノにしエU午留カ	H門IIトに捞わる		

计布 巴利	動画 映像カリテノタ む	ション カ		h		
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名 ————————————————————————————————————	76 153 114 5 1 4	──映像表現技法 -		
担当教員	大頭 勲 		務授業の有無		0	
対象コース	映画・映像カメラマン	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 台本を書き方 2. 作った台本を映像化する					
学習目標 (到達目標)	尺に対応した現場で通用する台	本作りが出来る				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布	ī			
回数	授業項目、内容		学習	了方法・準備学習	・備考	
1 台本			おおまかなコメン	トと情報を書きこむ)	
2 台本			尺と画構成			
3 台本			映像の設計図			
4 台本を作成しYou	Tube撮影を行う		配信はしません			
6 台本を作成しYou	Tube撮影を行う		配信はしません			
8 台本を作成しYou	Tube撮影を行う		配信はしません			
10 11 台本を作成しYou	Tube撮影を行う		配信はしません			
12 13 台本を作成しYou	Tube撮影を行う		配信はしません			
14 15 台本を作成しYou	Tube撮影を行う		配信はしません			
16 視聴および総評			これまで撮影した	モノを1本選択して	視聴 	
≡亚	価方法・成績評価基準 価方法・成績評価基準				<u>.</u>	
				/皮/少上ツ/上尼	`	
全ての撮影90% 視聴総評 成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	710% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	台本作成および	び撮影時に随時打	指導が入ります。	
実務経験教員の経歴	4	舞台製作・映像	◢ 象制作業界20年」	 以上従事		

					11/1/
対象学科	象学科 動画・映像クリエイター科 科目名 映像表現技法			-	
担当教員	矢頭 勲 実務		務授業の有無	0	
対象コース	映画・映像カメラマン	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 台本を書き方 2. 作った台本を映像化する				
学習目標 (到達目標)	尺に対応した現場で通用する台	本作りが出来る			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布			
回数 1·2	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
3 · 4 5 · 6 7 · 8 9 · 1 0 11 · 1 2 13 · 1 4 15 · 1 6	上でYouTube撮影~配信		一人10本の配信 時間尺は5分以上:	30分以内	
17・18 19・20	3本指導				
21·22 23·24 25·26 27·28	こでYouTube撮影~配信		一人5本の配信 時間尺は5分以上30	分以内	
29·30 31·32 上記で作成した台	a本指導 				
言 <u>平</u>	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ
台本の完成度80% 授業態 成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	態度20% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	台本作成および	び撮影時に随時打	指導が入ります.
実務経験教員の経歴 舞台製作・映像制作				以上従事	

対象学科 	動画・映像クリエイター科	科目名	1		
切业数昌		<u> </u>		テレビ番組制化 -	乍 —————
担当教員 	広川 一義	実	務授業の有無		0
対象コース	動画クリエイターコース ドローン撮影技術コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. テレビ業界の常識を知る。 2. 発想力を鍛える 3. テレビ番組の企画から、制作	作までの一連の流	れを知る。		
学習目標	①テレビ制作を学ぶうえでの心棒	 構えと、映像を学	ぶうえで必要な基础	楚知識、スキルを身(こつける。
(到達目標)	②グループワークを通して、積極	返的なコミュニケ·	ーションを取れる丿	(材を育成する	
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布			
回数	授業項目、内容		学習	了法・準備学習	・備考
1・2 放送基礎			放送番組の歴史		
3・4 放送基礎Ⅱ			CUEシート、回線	、機材の説明	
5・6 放送基礎Ⅲ			ENGとstudio、撮	影からMAまでの工	———————————— 程
7・8 企画			ネタ、出演者、取材先		
9・10 台本			台本作成の仕方		
11・12 ロケハン			撮影前の準備		
13・14 撮影			外口ケについて		
15・16 編集			効果的な番組編集	について	
17·18 MA			映像に音楽・効果	音・ナレーションを	入れる
19·20 番組制作 I			実際に番組を作っ	てみよう(企画)	
21.22 番組制作			取材先のブッキン	グ	
23 · 24 番組制作Ⅲ			撮影		
25·26 番組制作IV			編集		
27·28 番組制作VI			MA		
29・30 番組視聴会			作った番組を見てみよう		
31・32 放送番組試写会			評論(2年生の作品を見てみよう)		
 評1	価方法・成績評価基準				
企画内容60%、実技試験20 成績評価基準は、A(80点以 D評価を不可とする。	0%、出席率20% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	ループワーク一丸と	が出来るか、諦めずに実 なりより面白い作品か 夏目に出席し、完成まで	「出来るよう切磋琢磨
			<u> </u> 	 年の指導、MBA	_L _I _ &^\

	動画・映像クリエイター科	科目名		テレビ番組制位	炬	
担当教員				グレ こ 田 旭 同	· F	
+14	担当教員 広川 一義		務授業の有無 〇		0	
対象コース	動画クリエイターコース ドローン撮影技術コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. テレビ業界の常識を知る。 2. 発想力を鍛える 3. テレビ番組の企画から、制作	作までの一連の流	れを知る。			
	①テレビ制作を学ぶうえでの心構	構えと、映像を学	ぶうえで必要な基礎	歴知識、スキルを身	<u></u> につける。	
(到達目標)	②グループワークを通して、積極	図的なコミュニケ-	ーションを取れる人	、材を育成する		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数	授業項目、内容		学習	了方法・準備学習	・備考	
1 ・ 2 テレビ業界研究 I			テレビ業界での必要な心構	え、専門用語等の基礎知識を	学ぶ	
3 ・ 4 テレビ業界研究			実際のテレビ制作	の現場を見学する		
5・6 テレビ番組研究			テレビ番組の種類	、現在のトレンドを	<u>-</u> 	
7・8 企画			いままでに無いテレビ番組を考え、企画書にまとめる			
9・10 企画			企画にまとめた内容をプレゼンテーションする。			
11 · 12 企画Ⅲ			プレゼンテーションした内容で学内コンペを行う。			
13·14 企画IV			コンペの内容をブラッシュアップする			
15·16 番組台本制作			企画内容にそった台本の制作を行う			
17·18 番組台本制作 II			企画内容にそった台本の制作を行う			
19・20 番組台本制作Ⅲ			企画内容にそった台本の制作を行う			
21.22 制作実習			台本の内容から、撮	影場所、キャスト、	予算等を決める	
23.24 制作実習			撮影場所、キャスト、予算	等の調整、交渉、許可取りを	行う	
25·26 番組制作準備			スタジオ準備(建て込み含む)			
27・28 撮影			スタジオ撮影			
29·30 編集・MA						
31・32 放送番組試写会			評論			
 	価方法・成績評価基準			履修上の注意	į	
企画内容60%、実技試験2 成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	0%、出席率20% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	ループワーク一丸と	が出来るか、諦めずに身なりより面白い作品が ほ目に出席し、完成まで	が出来るよう切磋琢磨	
実務経験教員の経歴	放送・音楽業界の		L 専門学校にて28	 年の指導、MB <i>A</i>	 \ホルダー	

<u> </u>					331%
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		テレビ番組制作	
担当教員	広川 一義	実施	 努授業の有無		0
対象コース	映画・テレビ制作コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. テレビ業界の常識を知る。 2. 発想力を鍛える 3. テレビ番組の企画から、制	作までの一連の流	れを知る。		
学習目標	①テレビ制作を学ぶうえでの心材	構えと、映像を学ん	ぶうえで必要な基礎	楚知識、スキルを身に	につける。
(到達目標)	②グループワークを通して、積極	亟的なコミュニケ-	ーションを取れる丿	、材を育成する	
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布			
回数	授業項目、内容		学習	アイス・準備学習 アイナル アイナ アイティ アイティ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	・備考
1・2 放送基礎			放送番組の歴史		
3 ⋅ 4 放送基礎Ⅱ			CUEシート、回線	製、機材の説明	
5・6 放送基礎Ⅲ			ENGとstudio、撮	影からMAまでの工	程
7・8 企画			ネタ、出演者、取	对先	
9・10 台本			台本作成の仕方		
11・12 ロケハン			撮影前の準備		
13・14 撮影			外口ケについて		
15・16 編集			効果的な番組編集	について	
17·18 MA			映像に音楽・効果	音・ナレーションを	と入れる
19·20 番組制作 I			実際に番組を作っ	てみよう(企画)	
21.22 番組制作			取材先のブッキン	グ	
23 · 24 番組制作Ⅲ			撮影		
25·26 番組制作IV			編集		
27·28 番組制作VI			MA		
29·30 番組視聴会			作った番組を見てみよう		
31・32 放送番組試写会			評論(2年生の作品を見てみよう)		
33~48 番組制作&配信					
_	価方法・成績評価基準 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	-
企画内容60%、実技試験20 成績評価基準は、A(80点以 D評価を不可とする。	0%、出席率20% (上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	ループワーク一丸と	が出来るか、諦めずに実 なりより面白い作品か 種目に出席し、完成まで	「出来るよう切磋琢磨
 実務経験教員の経歴		大阪でテレト	<u> </u> ごディレクターで		
		/ lnX C / レ C	- / 1 / / / (二 小工 四人	

			H131	吹家 クノイノ 寺	3 3 12	
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名	目名 テレビ番組制作			
担当教員 広川 一義 実務授業			易授業の有無 ○ ○			
対象コース	映画・テレビ制作コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	48時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. テレビ業界の常識を知る。 2. 発想力を鍛える 3. テレビ番組の企画から、制作	作までの一連の流	れを知る。			
	①テレビ制作を学ぶうえでの心棒	- 構えと、映像を学	ぶうえで必要な基礎	楚知識、スキルを身	につける。	
(到達目標)	②グループワークを通して、積極	亟的なコミュニケ-	ーションを取れる人	、材を育成する		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1 ・ 2 テレビ業界研究 I			テレビ業界での必要な心構	え、専門用語等の基礎知識を	ジ学	
3 ・ 4 テレビ業界研究Ⅱ			実際のテレビ制作	の現場を見学する		
5 ・ 6 テレビ番組研究			テレビ番組の種類	、現在のトレンドを	- 研究する	
7・8 企画			いままでに無いテレビ番組を考え、企画書にまとめる			
9・10 企画			企画にまとめた内容をプレゼンテーションする。			
11 · 12 企画Ⅲ			プレゼンテーションした内容で学内コンペを行う。			
13·14 企画IV			コンペの内容をブラッシュアップする			
15·16 番組台本制作 I			企画内容にそった台本の制作を行う			
17・18 番組台本制作Ⅱ			企画内容にそった台本の制作を行う			
19・20 番組台本制作Ⅲ			企画内容にそった台本の制作を行う			
21・22 制作実習			台本の内容から、撮	影場所、キャスト、予	予算等を決める	
23.24 制作実習			撮影場所、キャスト、予算	等の調整、交渉、許可取りを	行う	
25.26 番組制作準備			スタジオ準備 (建て込み含む)			
27・28 撮影			スタジオ撮影			
2 9 · 3 0 編集・MA						
31.32 放送番組試写会			評論			
33~48 番組制作&配信						
]]平·	価方法・成績評価基準 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	-	
企画内容60%、実技試験20 成績評価基準は、A(80点以 D評価を不可とする。	0%、出席率20% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・	ループワーク一丸と	が出来るか、諦めずに身なりより面白い作品が ほ目に出席し、完成まで	『出来るよう切磋琢磨	
実務経験教員の経歴	放送・音楽業界の	現場に7年、雪	<u> </u> 専門学校にて28	年の指導、MB <i>A</i>	 \ホルダー	

対象学科 担当教員	動画・映像クリエイター科	科目名		テレビ番組制化	Æ	
 扫当教員			テレビ番組制作			
旦当教員 広川 一義 実務授業の有			務授業の有無	の有無		
対象学科	SNS動画ビジネスコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. テレビ業界の常識を知る。 2. 発想力を鍛える 3. テレビ番組の企画から、制作	作までの一連の流	れを知る。			
 学習目標	①テレビ制作を学ぶうえでの心情	 構えと、映像を学	ぶうえで必要な基礎	楚知識、スキルを身(こつける。	
(到達目標)	②グループワークを通して、積極	図的なコミュニケ.	ーションを取れる人	、材を育成する		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	■教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1 放送基礎			放送番組の歴史			
2 放送基礎Ⅱ			CUEシート、回線	!、機材の説明		
3 放送基礎Ⅲ			ENGとstudio、撮	影からMAまでの工	———————————— 程	
4 企画			ネタ、出演者、取材先			
5 台本			台本作成の仕方			
6 ロケハン			撮影前の準備			
7 撮影			外口ケについて			
8 編集			効果的な番組編集について			
9 MA			映像に音楽・効果音・ナレーションを入れる			
10 番組制作			実際に番組を作っ	てみよう(企画)		
11 番組制作			取材先のブッキン	グ		
12 番組制作Ⅲ			撮影			
13 番組制作IV			編集			
14 番組制作VI			MA			
15 番組視聴会			作った番組を見てみよう			
16 放送番組試写会			評論(2年生の作品	品を見てみよう)		
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
企画内容60%、実技試験2 成績評価基準は、A(80点り	·	・D(59点以下)・	ループワーク一丸と	出来るか、諦めずに実なりより面白い作品か ほ目に出席し、完成まで	でである。 グロック できまれる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できない はい でいま できまる できまる かいまい しゅう	
D評価を不可とする。						

	等门子仪 フノハ		
動画・映像クリエイター科 科目名 テレビ番組制作			
有無	0		
2 開講時期	前期・後期		
- 単位時間数	2 32時間		
必要な基礎知識、スキルを	 を身につける。		
を取れる人材を育成する			
学習方法・準備学	 学習・備考		
の必要な心構え、専門用語等の基礎	知識を学ぶ		
・レビ制作の現場を見学す	- -る		
組の種類、現在のトレン	 /ドを研究する		
いままでに無いテレビ番組を考え、企画書にまとめる			
企画にまとめた内容をプレゼンテーションする。			
プレゼンテーションした内容で学内コンペを行う。			
コンペの内容をブラッシュアップする			
企画内容にそった台本の制作を行う			
企画内容にそった台本の制作を行う			
にそった台本の制作を行	īĵ		
容から、撮影場所、キャス	ト、予算等を決める		
・ャスト、予算等の調整、交渉、許可			
- 準備(建て込み含む)			
撮影			
評論			
履修上の流	注意		
ーク一丸となりより面白い作	作品が出来るよう切磋琢磨		
 ₹にて28年の指導、N	 //BAホルダー		
-	軟な発想が出来るか、諦めて ークー丸となりより面白い作っての実習項目に出席し、完成 交にて28年の指導、N		

(2)						コ字校 ンフハス	
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名		配信 •		
担当教員		菅家 将次		務授業の有無 T −−−−		0	
対象コー	ース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース ドローン撮影技術コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・	・選択 必修 単位数			_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱 2. 基本的な配信システムの考 3. イベント等の配信を行って	え方を学ぶ				
学習目標		学生自身で配信のイベント企画	、実施				
	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布	ī			
回数		授業項目、内容		学習	3方法・準備学習	・備考	
1	配信基礎I			配信機材の種類、	名前を学習する		
2	配信基礎Ⅱ			配信機材の仕組み	み、使用方法を学習	する	
3	配信基礎Ⅲ			配信設備の組みご	てを行う		
4	配信基礎Ⅳ			WEB配信に必要な基礎的知識を学ぶ			
5	配信基礎V			配信に必要なソフトウェアの知識を得る			
6	配信基礎VI			配信に必要なソフトウェアの知識を得る			
7	配信基礎VII			配信に必要なソフトウェアの知識を得る			
8	配信基礎実践Ⅰ			基本的な配信設計に基づいて、配信設備をセッティンクしてみる			
9	配信基礎実践Ⅰ			配信イベントを企画するI			
10	配信基礎実践Ⅰ			配信イベントを分	≧画するⅡ		
11	配信基礎実践Ⅰ			企画したイベント		生田子法 * 光羽子	
12	配信基礎Ⅱ			機材を複数用いた配信機材の仕組み、使用方法を学習する			
13	配信基礎Ⅱ			機材を複数用いた配信機材の組み立てを行う			
14	配信基礎Ⅱ			複数の機材を使用した、配信ワークの基礎を学ぶ!			
15	配信基礎Ⅱ			複数の機材を使用した、配信ワークの基礎を学ぶⅡ			
16	配信基礎実践Ⅱ			配信設計に基づいて、配信設備をセッティングしてみ			
	=== /	┱┵ <u></u>			屋板しるとさ	=	
		西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>.</u>	
成績評価	70%、出席率30% 基準は、A(80点り 4価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以上	<u>-</u>)・D(59点以	16回すべての授業に	こ出席し、イベントの幻	企画配信を行う事	
実務経	験教員の経歴	新	潟での様々な	イベント、配信	スタッフ		

2				 -	坱像メディア 専	門学校 シラバス	
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名	配信			
担当教	員	菅家 将次	実				
対象コ [.]	ース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース ドローン撮影技術コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概.	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱 2. 基本的な配信システムの考 3. イベント等の配信を行っての	え方を学ぶ				
学習目7		学生自身で配信のイベント企画	、実施				
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配え	布			
回数		授業項目、内容		学習	了方法・準備学習	習・備考	
1	配信丨(応用)			配信機材の仕組み	,、使用方法を学習		
2	配信Ⅱ(応用)			配信設備の組み立	☑てを行う		
3	配信Ⅲ(応用)			WEB配信に必要な	な基礎的知識を学ぶ	\ \ \	
4	配信IV(応用)			配信に必要なソフ	7トウェアの知識を	得る	
5	配信V(応用)			配信に必要なソフトウェアの知識を得る			
6	配信実践			実践的な配信設計に基づいたセッティング			
7	配信実践Ⅱ			配信イベントを企	≧画するⅠ		
8	配信実践Ⅲ			配信イベントを企画するⅡ			
9	配信実践IV			配信イベントを企画するⅡ			
10	配信実習Ⅰ(応用	3)		機材を複数用いた配信機材の仕組み、使用方法を学習する			
11	配信実習Ⅱ(応用	3)		機材を複数用いた配信機材の組み立てを行う			
12	配信実習〓(応用	3)		複数の機材を使用した、配信ワークの基礎を学ぶI			
13	配信実習IV(応用	3)		配信設計に基づいて、配信設備をセッティングしてみる			
14	配信実習V(応用	3)		配信イベントを企画するⅢ			
15	配信実習VI(応用])		企画したイベントの配信を行う			
16	単位認定試験						
17							
18							
19							
20							
	評化	面方法・成績評価基準			履修上の注意	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
単位認定	試験70%、出席率	30%					
	基準は、A(80点り ☑価を不可とする。	从上)・B(70点以上)・C(60点以上	.)・D(59点以	16回すべての授業に	こ出席し、イベントの	企画配信を行う事	
実務経	験教員の経歴	新	潟での様々な	イベント、配信	スタッフ		

2					映像メディア専	門学校 シラバス	
対象学	—————————————————————————————————————	動画・映像クリエイター科	科目名		配信		
担当教	員	菅家 将次		実務授業の有無		0	
対象コ	ース	SNS動画ビジネスコース YouTubeクリエイターコース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱 2. 基本的な配信システムの考 3. イベント等の配信を行って	え方を学ぶ				
学習目		学生自身で配信のイベント企画	、実施				
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度	配布			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考	
1 • 2	配信基礎			配信機材の種類、	名前を学習する		
3 • 4	配信基礎Ⅱ			配信機材の仕組	み、使用方法を学習	゚゚する	
5 · 6	配信基礎Ⅲ			配信設備の組み	立てを行う		
7 · 8	配信基礎IV			WEB配信に必要	WEB配信に必要な基礎的知識を学ぶ		
9 · 1 0	配信基礎V			配信に必要なソ	配信に必要なソフトウェアの知識を得る		
11 · 12	配信基礎VI			配信に必要なソ	配信に必要なソフトウェアの知識を得る		
13 · 14	配信基礎VII			配信に必要なソ	配信に必要なソフトウェアの知識を得る		
15 · 16	配信基礎実践Ⅰ				基本的な配信設計に基づいて、配信設備をセッティング してみる		
17 · 18	配信基礎実践Ⅰ			配信イベントを1	企画する I		
19.20	配信基礎実践Ⅰ			配信イベントを1	企画するⅡ		
21 · 22	配信基礎実践Ⅰ			企画したイベン	トの配信を行う		
23 · 24	配信基礎Ⅱ			機材を複数用いる	た配信機材の仕組み	、使用方法を学習す	
25 · 26	配信基礎Ⅱ			機材を複数用いた	機材を複数用いた配信機材の組み立てを行う		
27 · 28	配信基礎Ⅱ			複数の機材を使用	複数の機材を使用した、配信ワークの基礎を学ぶⅠ		
29 · 30	配信基礎Ⅱ			複数の機材を使用	複数の機材を使用した、配信ワークの基礎を学ぶⅡ		
31 · 32	配信基礎実践Ⅱ			配信設計に基づいて、配信設備をセッティングしてみる			
	================================	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<u></u> 法	
実技試験	70%、出席率30%						
	i基準は、A(80点り 呼価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以上	-)・D(59点以	16回すべての授業(こ出席し、イベントの	企画配信を行う事	
実務経	経験教員の経歴	新	潟での様々	 なイベント、配信	ミスタッフ		

(2)		<u> </u>		-	上	大塚メディア 専	門字校 シフバス	
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名			配信		
担当教員		菅家 将次		実務	8授業の有無		0	
対象コー	ース	SNS動画ビジネスコース YouTubeクリエイターコース	対象学年	Ξ	2	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数		_	単位時間数	32時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 配信機材の名前、種類、扱 2. 基本的な配信システムの考 3. イベント等の配信を行って	え方を学ぶ					
学習目		学生自身で配信のイベント企画	、実施					
	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度	配布				
回数		授業項目、内容			学習	'方法・準備学習	引・備考	
1 · 2	配信 (応用)				配信機材の仕組み	、使用方法を学習	する	
3 • 4	配信Ⅱ(応用)				配信設備の組み立	てを行う		
5 · 6	配信Ⅲ(応用)				WEB配信に必要な	よ基礎的知識を学ぶ		
7 · 8	配信IV(応用)				配信に必要なソフトウェアの知識を得る			
9 · 1 0	配信V(応用)				配信に必要なソフトウェアの知識を得る			
11.12	配信実践				実践的な配信設計に基づいたセッティング			
13 · 14	配信実践Ⅱ				配信イベントを企画するI			
15.16	配信実践Ⅲ				配信イベントを企画するⅡ			
17 · 18	配信実践IV				配信イベントを企画するⅡ			
19.20	配信実習I(応用	3)			機材を複数用いた る	:配信機材の仕組み	、使用方法を学習す	
21 · 22	配信実習Ⅱ(応用	3)			機材を複数用いた	配信機材の組み立	てを行う	
23 · 24	配信実習Ⅲ(応用	3)			複数の機材を使用した、配信ワークの基礎を学ぶⅠ			
25 · 26	配信実習IV(応用	3)			配信設計に基づいて、配信設備をセッティングしてみる			
27 · 28	配信実習V(応用	3)			配信イベントを企画するIII			
29 · 30	配信実習VI(応用	1)			企画したイベントの配信を行う			
31 · 32	単位認定試験							
	評1	価方法・成績評価基準				履修上の注意	<u> </u>	
単位認定	試験70%、出席率	30%						
	基準は、A(80点以 ☑価を不可とする。	以上)・B(70点以上)・C(60点以上	<u>-</u>)・D(59点以		16回すべての授業に	出席し、イベントの	企画配信を行う事	
実務経	験教員の経歴	新	[潟での様々	なっ	イベント、配信	スタッフ		

(2)

				<u> </u>			
対象学	—————————————————————————————————————	動画・映像クリエイター科	科目名	ブランディング&SNSマーケティング			
担当教	員	神田幸司	実	務授業の有無		×	
対象コ	ース	SNS動画ピジネスコース 映画・映像カメラマンコース	対象学年	1 • 2	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概授業の	要、目的、 進め方	1. SNSを使ったセルフプロモ- 2. ブランド戦略について 3. SNSを使ったマネタイズ出来					
学習目		自身のブランド力を高め、SNS ⁻	でより多くの顧客	を獲得し、自身で	マネタイズを展開す	る。	
	ト・教材・参 ・その他資料	iPad・スマートフォンを使用 :	プリント配布				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1 · 2	ブランド展開とは			選ばれる戦略			
3 · 4	市場リサーチとマ	ーケティング		消費者の中の顧客	7		
5 · 6	宣伝とは			5 W1H · AIDMA	の法則など		
7 · 8	フォロワー数を増	やすメリット・デメリット		知名度に伴う誹謗中傷について			
9 · 1 0	Twitter • Instagra	m(I)		人気のあるSNSとは			
11.12	Twitter • Instagra	m②		フォロワー数をどう増やすか			
13 · 14	Twitter • Instagra	m3		どんな投稿をするべきか			
15.16	Twitter • Instagra	m実践					
17.18	Twitter • Instagra	m実践					
19.20	Twitter • Instagra	m実践					
21.22	Twitter • Instagra	m実践		フォロワーを増や	-		
23 · 24	Twitter • Instagra	m実践				?反応はどうだったの なな意見やアイデアを	
25 · 26	Twitter • Instagra	m実践		出しながら個々か イズ展開を行う準		すことで、次のマネタ	
27 · 28	Twitter • Instagra	m実践					
29 · 30	Twitter • Instagra	m実践					
31 · 32	Twitter • Instagra	m実践					
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	-	
定期試験	40%、レポート25	%、実技試験25%、学習意欲10%	6				
	基準は、A(80点以 不可とする。	.上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・	自身のスマートフォ	・ンを使用します		
実務紹	経験教員の経歴						

科目名		CM制]作		
	広川 一義	9	実務授業の有無		0
対象コース	動画クリエイターコース 映画・テレビ制作コース ドローン撮影技術コース 放送・制作ディレクターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 発想したものを、企画書に 3. 企画書にまとめたものを映 4. CM作成がメインとなる(核	像にしてみる	を作成しながら学ぶ)	
学習目標 <u>(</u> 到達目標) テキスト・教材・参	多くの人に見てもらえる映像を含	企画し、形に出	来る。CMの企画から	制作、納品方法まで	で出来るようになる
考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配	布		
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1・2 作品制作① 商品	1		対象商品のCM制	作について企画書制	作
3・4 作品制作① 商品	1 P		画コンテ・台本作	成	
5・6 作品制作① 商品	1 H		撮影・編集・MA		
7・8 作品制作① 商品	1 1		試写・講評		
9・10 作品制作② 企業	**		対象企業のCM制	作について企画書制	作
11・12 作品制作② 企業	*		画コンテ・台本作	成	
13・14 作品制作② 企業	*		撮影・編集・MA		
15・16 作品制作② 企業	¥ 		試写・講評		
17・18 作品制作③ イメ	ニージCM		イメージCM制作	について企画書制作	
19・20 作品制作③ イメ	ニージCM		画コンテ・台本作	成	
21・22 作品制作③ イメ	ニージCM		撮影・編集・MA		
23・24 作品制作③ イメ	ニージCM		試写・講評		
25・26 作品制作④ 情報	₹CM		情報CM制作につ	いて企画書制作	
27·28 作品制作④ 情報	₹CM		画コンテ・台本作	成	
29・30 作品制作④ 情報	₹CM		撮影・編集・MA		
31・32 作品制作④ 情報	₹CM		試写・講評		
<u>.</u>	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ
作品完成度80%、授業態度 成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	₹20% 以上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)	嫌いでは無く、仕事	グループワークとして ほとして積極的に実習に なまで責任を持って参か	取り組み、全ての実
実務経験教員の経歴					

対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		i-MEDIAゼミ	
担当教員	広川 一義	実	 努授業の有無		\circ
対象コース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 毎回、特別講師をお招きして 2. 講演会のみに留まらず、実 3. 全ての在校生および教職員	習・演習形式もあ	りえる。		
学習目標	著名なゲスト先生によりスペシ	ャルなトークにな	ります。貴重な経験	険が出来、人生にお	いて大切なことが学
(到達目標)	べます。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	講師の事前資料あり				
回数	授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考
1・2 スペシャルゲスト	講師①		予定講師		
3・4 スペシャルゲスト	講師②				コデューサー・お笑い
5・6 スペシャルゲスト	講師③			゚ロデューサー・歌手	手・教育関係者・ユー
7・8 スペシャルゲスト	講師④		チューバーなど		
9・10 スペシャルゲスト	講師⑤		-		
11・12 スペシャルゲスト	講師⑥		†		
13・14 スペシャルゲスト			†		
15・16 スペシャルゲスト			†		
17・18 スペシャルゲスト			†		
19・20 スペシャルゲスト			-		
21・22 スペシャルゲスト			1		
23・24 スペシャルゲスト			1		
25・26 スペシャルゲスト			1		
27・28 スペシャルゲスト			1		
29・30 スペシャルゲスト			1		
31・32 スペシャルゲスト			•		
 評·	 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	
授業態度と出席璃で評価す		D(50 h):			配布します。必ず事前
成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・・D(59点以下)・	に勉強して党講ト	<i>5 √</i> ′,°	
実務経験教員の経歴	各	 業界関係者を	<u></u> 招聘するオムニ	 バス形式	

対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		i-MEDIAゼミ	
担当教員	広川 一義	実	務授業の有無		0
対象コース	全コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 毎回、特別講師をお招きして 2. 講演会のみに留まらず、実行 3. 全ての在校生および教職員だ	習・演習形式もあ	りえる。		
学習目標 (到達目標)	著名なゲスト先生によりスペシーベます。	ャルなトークにな	ります。貴重な経	験が出来、人生にお	いて大切なことが学
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	講師の事前資料あり				
回数	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1・2 スペシャルゲスト 3・4 スペシャルゲスト 5・6 スペシャルゲスト 7・8 スペシャルゲスト 9・10 スペシャルゲスト 11・12 スペシャルゲスト 13・14 スペシャルゲスト 15・16 スペシャルゲスト 17・18 スペシャルゲスト 19・20 スペシャルゲスト 21・22 スペシャルゲスト 23・24 スペシャルゲスト 25・26 スペシャルゲスト 27・28 スペシャルゲスト 29・30 スペシャルゲスト 31・32 スペシャルゲスト	講師② 講師③ 講師④ 講師⑤ 講師⑥ 講師⑥ 講師の				コデューサー・お笑い
評	価方法・成績評価基準 価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>.</u>
D評価を不可とする。	人上)・B(70点以上)・C(60点以上)		に勉強して受講下	さい。	己布します。必ず事前
実務経験教員の経歴	各	ト業界関係者を		バス形式	

3	۷	I		四你		子仪 フノハス
対象コース 23-3 対象学年 1 開講時期 前期・後期 ※薬標要、目的、 ②素の進め方 単位時間数 182時間 1. 柔軟な発現力を鍛える 2. 学生自身が自由な船はで流出が出まる 3. 演出したものを形にしてみる ※評目標 供象活出の概念、シナリオからテーマ・変域人物の関係を距離し、表表方はのアレンジ、構築・済出の付け 方・説明的な表現の主除等を実践出まる。 フテキスト・教材・夢 素配置・その他資料 相一6 会価・済出 日	対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名			
※ 選択 必修 単位数 一 単位時間数 182時間 182時間 2条検験要、目的、	担当教員	広川一義	実	务授業の有無		0
受業無要、目的。	対象コース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
2. 学生自身が自由な発起で減出が出来る 3. 漢出したものを形にしてみる 学習目標 (表)達目間)	必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	182時間
(到達目標) 方・説明的な表現の排除等を実践出来る。 テキスト・教材・参 者図書・その他資料 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1~6 企画 演出 規業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1~6 企画 演出 規影 (ステール) 作品決定、企画内容修正 規影 (表価・演出 V 規影 (ステール) 作品決定 (金面・変出 V 規影 (ステール) 作品決定 (金面・変出 V 規影 (ステール) 作品決定 (金面・変出 V 規影 (ステール) 成果 (銀色) 演習 I	授業概要、目的、 授業の進め方	2. 学生自身が自由な発想で演				
1~6 企画・演出 現職成一企画提出一プレゼンテーション後、一次選考 接影(スチール)作品決定、企画内容停正 接影スケジュール薬を提出 接影スケジュール薬を提出 接影スケジュール薬を提出 接影スケジュール薬を提出 接影スケジュール薬を提出 接影準備開始 接影準備開始 接影準備開始 接影準備開始 接影準備開始 接野連 (基礎) 演習 全面内容選定 (舞台制作) 表術・衣裳・小道具打ち合わせ 接那、注意出 (基礎) 演習 表術・衣裳・小道具打ち合わせ 接那と大変・小道具打ち合わせ 接那と大変・小道具打ち合わせ 提影スケジュールの最終決定、リハーサル 全面を元にした映像制作もしくは舞台制作準備 年間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間		方・説明的な表現の排除等を実施	践出来る。	の関係を理解し、碁	 表現方法のアレンジ	、強調・演出の付け
6~15 企画・演出 撮影スケジュール薬を提出	回数	授業項目、内容		学習	アカス・準備学習 かんりゅう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	習・備考
提邦の 提	1~6 企画・演出			班編成→企画提出	→プレゼンテーショ	ョン後、一次選考
26~35 企画・演出V	6~15 企画・演出Ⅱ			撮影(スチール)	作品決定、企画内容	
36~45 企画・演出 V 提影学館開始 16~55 企画・演出 V 提影学了 66~65 映象演出 (基礎) 演習 I 企画内容選定 (舞台制作) 66~65 映象演出 (基礎) 演習 II 企画内容選定 (舞台制作) 66~75 映象演出 (基礎) 演習 II	16~25 企画・演出Ⅲ			撮影スケジュール	 ·案を提出	
36~45 企画・演出 V 提影学館開始 16~55 企画・演出 V 提影学了 66~65 映象演出 (基礎) 演習 I 企画内容選定 (舞台制作) 66~65 映象演出 (基礎) 演習 II 企画内容選定 (舞台制作) 66~75 映象演出 (基礎) 演習 II				予算、ロケ地、キ	ャスト、スケジュ・	 ール等の最終決定
16~55 企画・演出V 撮影完了 企画内容選定 (舞台制作) を調味しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま						
26~65 映像演出 (基礎) 演習 I						
66~75 映像演出 (基礎) 演習 II		· 宋翌			台制作)	
(76~85 映像演出 (基礎) 演習 III 制作準備・予算・キャスティング・ロケハン等準備 36~95 映像演出 (基礎) 演習 V				·		- ハンダ油 (帯
36~95 映像演出 (基礎) 演習 V						
### 106~105 映像演出 (基礎) 演習 V						コケハン寺準備
06~115 映像演出 (基礎) 演習VI 企画を元にした映像制作もしくは舞台制作準備 全画を元にした映像制作もしくは舞台制作準備 第期集大成の映像作品制作 完成したものは随時上映会を実施 完成したものは随時上映会を実施 デーベー774 デーベー775~182 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 現まで責任を持って参加する事。						
16~125 26~135 36~145 46~152 53~159 60~166 67~174 75~182 評価方法・成績評価基準						
26~135 36~145 46~152 53~159 60~166 67~174 75~182 評価方法・成績評価基準 履修上の注意 スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。	106~115 映像演出(基礎)	演習VI		企画を元にした映	像制作もしくは舞っ	台制作準備
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。	116~125 126~135 136~145 146~152 153~159 160~166 167~174 175~182	作品制作		完成したものは随	時上映会を実施	
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。						
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。						
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。						
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。						
スチール提出35%、映像・舞台制作35%、出席率30% グループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 別評価を不可とする。						
ガループワークとして実習に臨む。自ら意見をのべ積極的にアイデアを出し実習に取り組み、全ての実習項目に出席し、企画の実 支績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・現まで責任を持って参加する事。	三 子1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	E
	成績評価基準は、A(80点以		・D(59点以下)・	デアを出し実習に取	り組み、全ての実習り	
実務経験教員の経歴 映像制作プロダクションにて10年番組制作に携わる	D評価を不可とする。 	,				
	実務経験教員の経歴	映像制作	作プロダクショ	ンにて10年番組	<u>組制作に携わる</u>	

(2)		41 - 5			子仪 クノハス
対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		事攻実習 	
担当教員	広川一義	実	タ授業の有無		0
対象コース	全コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	182時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 柔軟な発想力を鍛える 2. 学生自身が自由な発想で演 3. 演出したものを形にしてみる				
学習目標 (到達目標) テキスト・教材・参 考図書・その他資料	映像演出の概念、シナリオから方・説明的な表現の排除等を実施 教科書は使用しない、必要な資	践出来る。	の関係を理解し、着	表現方法のアレンジ	、強調・演出の付け
回数	授業項目、内容		学習	『方法・準備学習	習・備考
1~6 企画・演出			班編成→企画提出	→プレゼンテーシ	ョン後、一次選考
6~15 企画・演出			撮影(スチール)	作品決定、企画内?	
16~25 企画・演出Ⅲ			撮影スケジュール	 ·案を提出	
26~35 企画・演出IV			予算、ロケ地、キ	ャスト、スケジュ	 -ル等の最終決定
36~45 企画・演出 V			撮影準備開始		
46~55 企画・演出VI			撮影完了		
	(中 3			- 12 HIVE)	
56~65 映像演出(基礎)			企画内容選定(舞		
66~75 映像演出(基礎)				予算・キャスティング・ログ	
76~85 映像演出(基礎)			制作準備・予算・	キャスティング・	コケハン等準備
86~95 映像演出(基礎)	演習IV		美術・衣装・小道	[具打ち合わせ	
96~105 映像演出(基礎)	演習V		撮影スケジュール	の最終決定、リハー	ーサル
106~115 映像演出(基礎)	演習VI		企画を元にした映	像制作もしくは舞	台制作準備
116~125 126~135 136~145 146~152 153~159 160~166 167~174 175~182	作品制作		完成したものは随	i時上映会を実施	
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
	舞台制作35%、出席率30%				類見をのべ積極的にアイ 頁目に出席し、企画の実
成績評価基準は、A(80点以 D評価を不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上))・D(59点以下)・	現まで責任を持って		
 実務経験教員の経歴	映像制作	 作プロダクショ	<u> </u> ンにて10年番約	 狙制作に携わる	
	> \(\frac{1}{2} \tag{1} \\ \frac{1}{2} \\ \frac{1}		. = 1		

国际外隊が行うものであった。							
対象学		動画・映像クリエイター科	科目名		Protools		
担当教	員	長谷川 辰也	実	務授業の有無 -		0	
対象コ	ース	全コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 音響機材の使用方法、名前 2. 各種ケーブルの取り扱い、 3. 録音機材を使用し、収録し	取り回しを学ぶ				
学習目		音の性質を理解し、扱えるよう	になる。				
	ト・教材・参 書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考	
1	音響基礎実習Ⅰ			映像制作における	音の役割、録音の	やり方を学ぶ	
2	音響基礎実習Ⅱ			音との性質、録音技法、マイクの仕組み方法、ケーブルの種類、扱い方法を学ぶ			
3	音響基礎実習Ⅲ			録音機材の準備方法、撤収方法			
4	音響基礎実習IV			ブームの使用方法、レコー	ディング、ミキシング方法を	ィング、ミキシング方法を学ぶ	
5	音響基礎実習 V			スタジオ録音実習			
6	音響基礎実習VI			アフレコ録音実習			
7	音響基礎実習Ⅶ			アフレコ録音実習			
8	音響基礎実習Ⅷ			効果音実習(作成および、録音、適切な選択方法)			
9	音響基礎実習IX			効果音実習(作成	および、録音、適は	刃な選択方法)	
10	音響基礎実習X			整音実習(アフレ	コ素材の整音)		
11	音響基礎実習XI			整音実習(アフレ	コ素材の整音)		
12	音響基礎実習XII			整音実習(アフレ	コ素材の整音)		
13	音響仕上げ実習Ⅰ			ミックスダウンを	行ってみる。		
14	音響仕上げ実習Ⅱ			ミックスダウンを	行ってみる。		
15	音響効果研究I			アカデミー録音賞の作品を	 鑑賞し、音がどのような役害	削を果たしているかを学習する	
16	音響効果研究Ⅱ			アカデミー録音賞の作品を	鑑賞し、音がどのような役割	削を果たしているかを学習する	
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
収録クオリティー80%、出席率20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ 見評価を不可とする。						目に出席し、かつ音響効 と。	
実務経	経験教員の経歴		株式会社サウ	ンドエイト 音	響技師		
		-					

対象学科		動画・映像クリエイター科	科目名		Protools		
担当教员		長谷川 辰也	実務	 努授業の有無		0	
対象コ-	ース	全コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・流	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業の流 学習目	西 示	1. 様々な演出に応じた音の効果 2. 録音機材を使用し、収録を行る 3. 収録した音声を整音する 録音部として映像作りに関わり、	ति วे	て短編映像を完成さ	ご せる。		
	∃標) ト・教材・参 ・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数				学習		習・備考	
	 音響基礎知識			·	「、ワイヤレスマイクの取り打		
2	音響基礎知識			マルチトラック録	 計音実践		
3	音響基礎知識Ⅲ			ENG収録実践			
4				アニメーションを使用し、アフレコ、効果音等付けてみる。			
5				アニメーションを使用し、アフレコ、効果音等付けてみる。			
6				アニメーションを使用し、アフレコ、効果音等付けてみる。			
7				シナリオから短編映像制作を行う			
8				シナリオを基に録音機材の機材のセッティング方法、機材の選定、操作方法の確認を行っ			
9	録音実践			短編映像制作	<u>'。</u> 豆編映像制作		
10	 録音実践			編集と同時に音素材収集、	編集と同時に音素材収集、整音作業、監督との音設計・BGM等の打ち合わせを行う		
11	録音実践Ⅲ			編集と同時に音素材収集、	整音作業、監督との音設計・	・BGM等の打ち合わせを行う	
12	録音実践IV			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業:	を行う	
13	録音実践V			整音作業、フォーリー等仕上げ作業を行う			
14	録音実践VI			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業	を行う	
15	録音実践Ⅶ			整音作業、フォー	リー等仕上げ作業	を行う	
16	PA実習			音響機材を使用し、マイク	や操作卓のセッティング方法	まなどを学ぶ。	
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価	リティー80%、出 基準は、A(80点以 下可とする。	席率20% 上)・B(70点以上)・C(60点以上)				目に出席し、かつ音響効	
実務経	験教員の経歴		株式会社サウ	ンドエイト 音	響技師		

公			到口力		サンス・カン・サンス・カンド	
対象学和 担当教真		動画・映像クリエイター科 広川 一義	科目名 ————————————————————————————————————	┃ 務授業の有無	放送 T	0
ニヨ叙り	≓			が収表の月ボ		
対象コ-	ース	映画・テレビ制作コース	対象学年	1	開講時期	前期・後期
必修・泊	巽択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間
授業概 授業の違	要、目的、 進め方	1. 放送業界の仕組み、基本を含 2. 映像業界を知る事により、2 3. 講義を中心に実施		を埋める		
学習目標		放送の仕組みが理解出来る				
	ト・教材・参・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1	放送・映像業界の	仕組みとは?		プリント配布		
2	放送・映像業界の仕組みとは?Ⅱ		プリント配布			
3	放送・映像業界の	仕組みとは?		プリント配布		
4	放送のルール丨			プリント配布		
5	放送のルールⅡ			プリント配布		
6	放送に伴う法律・	権利		プリント配布		
7	放送に伴う法律・	権利Ⅱ		プリント配布		
8	放送に伴う法律・	権利Ⅲ		プリント配布		
9	放送に伴う法律・	権利IV		プリント配布		
10	放送に伴う法律・	権利 V		プリント配布		
11	映像ドラマ15分間	ラシナリオ作成 I		期日までに提出		
12	映像ドラマ15分間	引シナリオ作成Ⅱ		期日までに提出		
13~31	映像ドラマ15分間	引制作 I		期日までに提出		
32	完成試写会			評価		
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	ţ
		像ドラマシナリオ40%、学習意欲 (上)・B(70点以上)・C(60点以上)			でシナリオを書き、尚且 責任を持って参加する事	
	不可とする。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
実務経	 験教員の経歴		映像業界にて		 勤教員	

対象学	——————— 科	動画・映像クリエイター科	科目名		放送		
担当教	員	広川 一義	実	■ 務授業の有無		0	
対象コ [.]	ース	映画・テレビ制作コース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
	選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概:授業の	要、目的、 進め方	 シナリオ作り ト書き・台詞の書き方 シナリオ作り 					
学習目 ⁷ (到達		シナリオを元に映像制作が出来ん	3				
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資	料はその都度配布				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1	放送・映像業界の	仕組みとは?		プリント配布			
2	放送・映像業界の	 仕組みとは?II		プリント配布			
3	放送・映像業界の	 仕組みとは?III		プリント配布			
4	放送のルール丨			プリント配布			
5	放送のルールⅡ			プリント配布			
6	放送に伴う法律・	権利Ⅰ		プリント配布	プリント配布		
7	放送に伴う法律・	権利Ⅱ		プリント配布			
8	放送に伴う法律・	権利Ⅲ		プリント配布			
9	放送に伴う法律・	権利IV		プリント配布			
10	放送に伴う法律・	権利 V		プリント配布			
11	映像ドラマ15分間	ランナリオ作成 I		期日までに提出			
12	映像ドラマ15分間	ランナリオ作成 II		期日までに提出			
13~31	映像ドラマ15分間	制作丨		期日までに提出			
32	完成試写会			評価			
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u>;</u>	
映像ドラ	マ完成度50%、映	像ドラマシナリオ40%、学習意欲	次10%			· ·	
	基準は、A(80点以 不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・			、映像作品として完成 :。	
<u></u> 宝淼怒	経験教員の経歴		映像業界につ	┃ 〔10年勤務、常寶			

9				<u> Піл</u>		
対象学	 科	動画・映像クリエイター科	科目名		Youtube研究	
担当教	具 —	広川 一義	実務	M		0
対象コ	ース	SNS動画ビジネスコース Youtubeクリエイターコース	対象学年	1 · 2	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	 YouTube制作 YouTube定期的配信の実施 視聴回数の獲得 				
学習目		効果的YouTube作品作りの習得				
	スト・教材・参 書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1						
2						
3	メジャーなYouTu	beを視聴		視聴しながら思っ	たことを書きだす	
4	1					
5						
6						
7	ディスカッション			HIKAKINを始めメジャーユーチューバーたちについて		
8						
9						
10	1			書き出した情報と	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	で得た情報をもとに新
11	メジャーなYouTu	beを視聴			ながら相違点などを	
12	1					
13				メジャーユーチュ		
14	研究論文作成			のか?		
15				TH # = A - L 0	٠	
16	テスト			研究論文のプレゼ	ソテーション	
	上	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ
プレゼン	テーション80%、	授業態度20%				
	5基準は、A(80点以 不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上)	·D(59点以下)·	各自で視聴するため	にスマートフォンおよ	びipadを持参下さい
実務紹	経験教員の経歴		映像業界	· 【10年、常勤教』	具 ————————————————————————————————————	

対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名		Youtube研究	,	
担当教員	広川 一義	実利	・ 務授業の有無		0	
対象コース	SNS動画ビジネスコース Youtubeクリエイターコース	対象学年	2	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	32時間	
授業概要、目的、 授業の進め方	 YouTube制作 YouTube定期的配信の実施 視聴回数の獲得 					
学習目標 (到達目標)	効果的YouTube作品作りの習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数	授業項目、内容		学習	3方法・準備学習	・備考	
1・2 ①課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	[プリントの作成		
3・4 ②課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	プリントの作成		
5・6 ③課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	プリントの作成		
7 ・8 一回目 プレゼン	ケーション		課題プリントに従った発表			
9·10 ①課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	『プリントの作成		
11·12 ②課題YouTube作	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		視聴しながら課題	プリントの作成		
13·14 ③課題YouTube作			視聴しながら課題	ラプリントの作成		
15・16 二回目 プレゼン	ケテーション		課題プリントに従った発表			
17·18 ①課題YouTube作	- - 品を視聴		視聴しながら課題	『プリントの作成		
19·20 ②課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	『プリントの作成		
21·22 ③課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	『プリントの作成		
23・24 三回目 プレゼン	ケーション		課題プリントに彷	たのた発表		
25·26 ①課題YouTube作	- -品を視聴		視聴しながら課題	『プリントの作成		
27·28 ②課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題	『プリントの作成		
29·30 ③課題YouTube作	品を視聴		視聴しながら課題プリントの作成			
31・32 四回目 プレゼン	· テーション		課題プリントに従った発表			
評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
プレゼンテーション80%、	授業態度20%					
成績評価基準は、A(80点り D評価を不可とする。	人上)・B(70点以上)・C(60点以上)	·D(59点以下)·	各自で視聴するため	いにスマートフォンおよ	びipadを持参下さい	
実務経験教員の経歴		映像業界	₹10年、常勤教 _.	員		

(2)	<u> </u>							
対象学	科	動画・映像クリエイター科	科目名		社	会人常識マナ-	-検定	
担当教	員	鈴木 則子		実績	 努授業の有無		×	
対象コ	ース	動画クリエイターコース 動画・テレビ制作コース Web配信技術者コース ドローン撮影技術コース YouTubeスタッフコース	対象学年	-	1	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	必修	単位数		一 単位時間数 16時間			
授業概 授業の	要、目的、 進め方	2. 人として必要な知識やビシ	. 社会人、組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解する。 . 人として必要な知識やビジネスマナーを修得する。 . 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。					
学習目	標	1.社会常識を理解する。2.ビジ	ネス計算力を	身に	こつける。3.立居拡	最舞い、言葉遣い な	などを身につける。4.	
(到達	目標)	ビジネスマナーの基礎を理解す	する。5.社会人	常記	哉マナー検定3級台	合格を目指す。		
テキス	ト・教材・参	公益社団法人 全国経理教育協会	会 社会人常識	マナ	├一検定テキスト	2・3級		
		公益社団法人 全国経理教育協会					3級	
回数					学習	方法・準備学習	習・備考	
1	社会人常識マナー検定試 社会と組織 1	験について			社会人としての自覚やキー	ャリア、会社組織について	。テキストP1~20	
2	社会と組織2				組織と役割、社会変化とその対応。テキストP22~32			
3	仕事と組織				目標の重要性、主体性と組織運営。テキストP34~54			
4	一般常識 1				社会常識の基礎用語。漢字など。テキストP56~70			
5	一般常識 2				社会常識の基礎月	月語。用語など。 :	テキストP70~86	
6	ビジネスコミュニ	ニケーション 言葉遣い			人間関係とコミュニケー	ション。敬語と話し方。テ	キストP102~144	
7	ビジネス文書				ビジネス文書の特徴。社内文書。テキストP146~156			
8	ビジネスマナー				組織の一員としてのマナー。来客応対。テキストP176~196			
9	定期試験				テストと解説。			
10	電話対応				電話対応の重要性。電話の受け方、掛け方の心得。テキストP202~214			
11	交際業務				慶事・弔辞のマナー。テキストP128~238			
12	文書類の受け取り	Jと発送			受発信文書の取り扱い。オフィス環境。テキストP242~249			
13	計算				ビジネスにおける	お計算。数式。テラ	キストP90∼99	
14	日本				都道県名・県庁原	所在地・各県の特色	<u></u> 色など。	
15	検定対策①				過去問題の解説、	確認。		
16	検定対策②				過去問題の解説、	確認。		
	評化	西方法・成績評価基準				履修上の注意	意	
成績評価		25%、実技試験25%、学習意欲 以上)・B(70点以上)・C(60点以			社会人として必要なと、社会への意識を		景。検定合格は勿論のこ	
実務経	経験教員の経歴							

対象学科	動画・映像クリエイター科	科目名	実践行動学				
担当教員	若狭利之	実	務授業の有無		×		
対象コース	動画クリエイターコース 動画・テレビ制作コース Web配信技術者コース ドローン撮影技術コース YouTubeスタッフコース	対象学年	1 開講時期 前期・後期				
必修・選択	必修	単位数	単位時間数 15時間				
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 前期1回、後期2回実施 2. 人間力(自主性・プラス思 3. Part 1~Part 3を毎回グル・						
学習目標 (到達目標)	将来に対する目標設定・プラス	思考・働くことへ	、 のモチベーション	向上			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学テキスト配布 実践	行動学研究所					
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	3・備考		
1 Part1 マジッ:			夢と目標 P1~F				
2 Part1 マジッ:	クドア 2		誤った思い込みと	言い訳 P8~P1	. 3		
3 Part 1 マジッ:	クドア3		行動のよりどころ	と心構え P14 ⁻	~P22		
4 Part 1 マジッ:	クドア 4		まず第1歩を P	23~P32			
5 Part 1 マジッ:	クドア 5		目標設定しよう P33~P38				
6 Step Up Sheet			目標設定達成の振	 り返り P39~	P4 2		
7 Part 2 マジッ:	クドア1		プラス思考が自分の能力・可能性を大きく広げる P1~P4				
8 Part 2 マジッ:	クドア 2		考え方を変えれば	行動が変わる P	5∼P11		
9 Part 2 マジッ:	クドア3		あなたの問題は、あなたが解決できる P12~P19				
10 Part 2 マジック	クドア4		あなたのコミュニ P20~P27	ケーションスタイ	ルを見直そう		
11 Part 2 マジッ:	クドア 5		目標が才能・可能性を開花させる P28~P32				
12 Step Up Sheet			目標設定達成の振り返り P34~P36				
13 Part 3 マジッ:	クドア1		入学から今日までの成長を実感しよう P1~P4				
14 Part 3 マジッ:	クドア 2		働く自分をイメージしてみよう P5~P10				
15 Part 3 マジッ:	クドア3		自分が最大限に活	きる働き方とは	P11~P15		
16 Part 3 マジッ:	クドア4		将来を描いてみよ	う P16∼P20			
17 Part 3 マジッ:	クドア5		夢実現への第一歩	を踏み出そう P	2 1∼P24		
18 Step Up Sheet			夢実現整理・行動	計画の振り返り	P25~P28		
	で価方法・成績評価基準			履修上の注意			
成績評価基準は、A(80点	表内容30%、リーダーシップ30%、 以上)・B(70点以上)・C(60点以上		ません。ファシリテ て下さい。	ーターの指示に従い	リテーター)でしかあり 、グループで授業を進め * で * 姉**)		
上)・D評価を不可とする。	_			間に含まない(あく)	まぐも伸講 <i>)</i>		
実務経験教員の経歴		実践行動学フ	アシリテーター資	資格者			

科目名			発声	<u> </u>			
担当教員		鈴木 則子	5	実務授業の有無		0	
対象学科	科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・道	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概 授業の済	要、目的、 進め方	1. 正しい呼吸法・発声法を身 2. マイク通りの良い発声・滑		o			
学習目標		1. 声優・俳優としての発声を見	身につける。2	. 声優・俳優として	必要な滑舌を身につ	ける。	
	ト・教材・参	講師作成テキスト					
回数	授業項目、内容			学	習方法・準備学習	・備考	
1	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
2	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
3	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
4	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習			
5	腹式呼吸 声帯ス	トレッチ		実習	実習		
6	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文	てを練習。復習箇所	もチェック。	
7	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。			
8	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文	てを練習。復習箇所	もチェック。	
9	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文	実習。滑舌課題文を練習。復習箇所もチェック。		
10	発声 滑舌課題文	練習		実習。滑舌課題文	てを練習。復習箇所	もチェック。	
11	テスト			滑舌課題確認テス	۲ ト		
12	外郎売			暗唱			
13	外郎売			暗唱			
14	外郎売			暗唱			
15	外郎売			暗唱			
16	テスト			外郎売テスト			
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価		%、学習意欲20%、積極性20% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)	しっかりと声を前に	こ出す意識を持たせる。		
 実務経	経験教員の経歴	演技者	・ナレータ [・]	_ ーとして10年以	上経験を積む		

科目名			演技			
担当教	 員	矢頭 勲	実	務授業の有無		0
対象学	科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の	要、目的、 進め方	1. 演技者のための基本トレー 2. 演技をするための発声・身 3. 身体のケア・自己管理能力	体感覚の習得			
学習目		自分の身体に興味を持ち、客観 にかかわっていくことができる		o開発できる。また、	. 自身でケアを行い	ながら積極的に表現
	(ト・教材・参 『・その他資料	特になし。				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1	身体トレーニング	1		イントロダクショ	ン・トレーニングの	D重要性
2	身体トレーニング	`2		ストレッチ・リス	ぶム運動	
3	身体トレーニング	`3		ストレッチ・リス	ぶム運動・呼吸法	
4	身体トレーニング	`4		ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング		
5	身体トレーニング	`5		ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・リセット		
6	身体トレーニング	6		ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発 声・リセット		
7	身体トレーニング	`7			(ム運動・呼吸法・角	第力トレーニング・発
8	身体トレーニング	`8			(ム運動・呼吸法・角	第力トレーニング・発
9	身体トレーニング	`9			ぶム運動・呼吸法・角	第カトレーニング・発
10	演技トレーニング	`1		ストレッチ・リス	、 ム運動・呼吸法・角 き声トレーニング・!	第カトレーニング・発 Lセット
11	演技トレーニング	`2		ストレッチ・リス	ぶム運動・呼吸法・角	5カトレーニング・発
12	演技トレーニング	`3		ストレッチ・リス		5カトレーニング・発
13	演技トレーニング	`4		声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発		
14	演技トレーニング	`5		ストレッチ・リス		5カトレーニング・発
15	演技トレーニング	`6		声・演技を伴う発声トレーニング・リセット ストレッチ・リズム運動・呼吸法・筋力トレーニング・発		
16	テスト				き声トレーニング・! :ック・自己管理能を	フセット 力・メンタルケア能
	 	 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	
成績評価 D評価を	5基準は、A(80点以 不可とする。	%、学習意欲20%、積極性20% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)		表現者としてやって するつもりで臨んで 最低限のパフォーマ 思を自覚すること。	はしい。日常のコンティンスを発揮できる自己	します。 声づくりの素地を形成 ディションキープと常時 日管理能力を維持する意
実務紹	経験教員の経歴		舞台演	剔活動10年以上。		

科目名			歌唱			
担当教員	Į	西潟 明美	実	務授業の有無		0
対象学科	ł	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期
必修・選	訳	選択	単位数	_	単位時間数	16時間
受業概要 受業の進	E、目的、 Eめ方	 テキストを元に声楽の基礎? 正しい音程を身につける。 ミュージカル対応もできる。 		指導する。		
学習目標 (到達目		1.声楽の基礎を身につける。	2. 正しい音程	を身につける。	3. 音域を広げる。	
		音楽之友社 コールユーブンゲ 全音楽譜出版社 コンコーネ50				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考
1 声	 「楽のためのスト	レッチと呼吸 テキスト解説		歌うための身体の	準備の仕方、呼吸流	去を覚える。
2 声	 「楽のためのスト	レッチと呼吸 母音と子音の発音		歌うための声の出	し方の基礎、口の開	開け方など修得。
3 多	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンケ	・ンNo3 a/c、コンコ	ıーネNo.2 練習。
4 多	発声 コールユーブンゲン コンコーネ			コールユーブンゲンNo3 a/c No4a/c、コンコーネNo.2 練習。		
5 <i>多</i>	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌			ンNo4 No6、コンコ	コーネNo.2
6 多	発声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌			ンNo4 No8、コンコ	コーネNo.3
7 <i>多</i>	発声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌			ンNo6 No8 No10、	コンコーネNo.3
8 3	発声 コールユー	ブンゲン コンコーネ 校歌			ンNo10 No11、コン	ンコーネNo.3
9 =	テスト			コールユーブンケ	シ、コンコーネから	らのテスト。
10 1	L 学期の復習 コ	ールユーブンゲン コンコーネ		1学期の復習。 コールユーブンケ	シNo13、コンコー	ネNo.4 練習。
11 <i>§</i>	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンゲ	シNo13、コンコー	ネNo.4 練習。
12 <i>§</i>	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		コールユーブンケ	ンNo15、コンコー	ネNo.4 練習。
13 <i>拳</i>		ブンゲン コンコーネ			ンNo15、コンコー	
14 §	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ		練習。	゛ンNo15 No17、コン	
15 <i>§</i>	巻声 コールユー	ブンゲン コンコーネ ミューシ	ブカル楽曲	ミュージカル楽曲		
16 多	き声 コールユー	ブンゲン コンコーネ ミューシ	ブカル楽曲	コールユーブンゲミュージカル楽曲	『ンNo17 No18、コ』 IA練習。	ンコーネNo.7
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
 龙績評価基		%、学習意欲20%、積極性20% 上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・		、音程を正す意識が必 ジカルに進出すること んでいかせる。	
実務経	険教員の経歴	声楽指導、ミュ	- ージカル歌唱:	指導者として、	30年以上の経験	を持つ

科目名			演奏					
担当教	<u> </u>	富田 一輝	実	務授業の有無		0		
対象学	科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期		
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間		
授業概要、目的、 授業の進め方			 1. 各希望楽器を用いたアンサンブル授業 2. 各パートごとの練習、完成後にバンド演奏 3. バンドステージとして発表 					
学習目		初心者でも楽器が演奏できるよる最終的にはバンド形態で1曲以上			クニックを身に付け	る。		
	キスト・教材・参 図書・その他資料 ************************************							
回数	授業項目、內容			学習	習方法・準備学習	・備考		
1	楽器の特性などを			ギター・ベース・	ドラムス・キーボー	-		
2	パート分け			各楽器および経験	の有無に分かれて終	東習を開始		
3	まず音を出してみ	3		経験者は初心者を	:サポートしながらタ	と器を演奏してみる		
4								
5				ク .º 1 /- ハ かっ				
6	課題曲① 演奏練習			各パートに分かれ	て課題曲練習			
7								
8								
9	課題曲アンサンブ	心の練習		バンド形態で課題曲の練習				
10	課題曲① 発表			ステージにて課題	動演奏の発表			
11								
12	課題曲② 演奏練	習		各パートに分かれて課題曲練習				
13								
14		% / - 			- II - 4			
15	課題曲アンサンブ	ルの練習		バンド形態で課題曲の練習				
16	課題曲② 発表			ステージにて課題	通曲演奏の発表			
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	ţ		
課題①発	表30%、課題②発	表30%、学習意欲20%、積極性2	20%					
	i基準は、A(80点以 不可とする。	(上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以上)・	楽器は各自、ご用意	tください。 -			
実務紹	経験教員の経歴	作曲家:2019年4月アニメキラッとプ	リチャンED 作編曲、	■ 同4月Kore:ct「スタート	ボタン」オリコンウィー	ウリー総合5位 他多数		

対象学科	をではない。 をおける という	表現力を養う。 骨舌の克服と強化。	○ 前期・後期 16時間 3. 声量やブレス
対象学科 全学科 対象学年 必修・選択 選択 単位数 授業概要、目的、 授業の進め方 1. 日々行える声優トレーニング法を指導。 2. 呼吸と発声についての基礎的知識を認識させ、 3. イントネーション・プロミネンス・ボーズの基 学習目標 1. 声優として持久力のある発声を身につける。 数を調整しつつ語ることができる 4. 長文も滑舌 テキスト・教材・参 考図書・その他資料 回数 授業項目、内容 1	全学年 一 正しい発声に役 基礎理解により、記 2. 苦手な行の対 5良く読むことがつ	単位時間数 立てる。 表現力を養う。 骨舌の克服と強化。	前期・後期 16時間
 必修・選択 選択 単位数 授業概要、目的、 授業の進め方 1. 日々行える声優トレーニング法を指導。 2. 呼吸と発声についての基礎的知識を認識させ、 3. イントネーション・プロミネンス・ポーズの基 学習目標 1. 声優として持久力のある発声を身につける。 数を調整しつつ語ることができる 4. 長文も滑舌 テキスト・教材・参 考図書・その他資料 回数 授業項目、内容 1 トレーニング発声・滑舌 2 トレーニング発声・滑舌 4 トレーニング発声・滑舌 5 発声・滑舌 6 トレーニング発声・滑舌 7 発声・滑舌 7 トレーニング発声・滑舌 8 トレーニング発声・滑舌 	上 正しい発声に役 基礎理解により、 2. 苦手な行の 5良く読むことがつ	単位時間数 立てる。 表現力を養う。 骨舌の克服と強化。	16時間
(反業 (大) 進め方 2. 呼吸と発声についての基礎的知識を認識させ、3. イントネーション・プロミネンス・ポーズの基準 3. イントネーション・プロミネンス・ポーズの基準 4. 上ので表面を関係できる。4. 長文も滑舌 (到達目標) 1. 声優として持久力のある発声を身につける。数を調整しつつ語ることができる。4. 長文も滑舌 (可要と見て持久力のある発声を身につける。数を調整しつつ語ることができる。4. 長文も滑舌 (可要と見て持久力のある発声を身につける。数を調整しつつ語ることができる。4. 長文も滑舌 (可要など表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表	をではない。 をおける という	表現力を養う。 骨舌の克服と強化。	3. 声量やブレス
(到達目標) 数を調整しつつ語ることができる 4. 長文も滑舌 テキスト・教材・参考図書・その他資料 講師作成資料 回数 授業項目、内容 1 トレーニング 発声・滑舌 2 トレーニング 発声・滑舌 3 トレーニング 発声・滑舌 4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 発声・滑舌 発声・滑舌 8 トレーニング	后良く読むことが つ		3. 声量やブレス
テキスト・教材・参 講師作成資料 図書・その他資料 授業項目、内容 1 トレーニング 発声・滑舌 2 トレーニング 発声・滑舌 3 トレーニング 発声・滑舌 4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング			
回数 授業項目、内容 1 トレーニング 発声・滑舌 2 トレーニング 発声・滑舌 4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング			
1 トレーニング 発声・滑舌 2 トレーニング 発声・滑舌 3 トレーニング 発声・滑舌 4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 発声・滑舌 8 トレーニング			 引・備考
発声・滑舌 2 トレーニング 発声・滑舌 3 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 発声・滑舌 8 トレーニング 8 トレーニング	実習 トレーニン		, ,,,,
2 発声・滑舌 3 トレーニング 発声・滑舌 4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 発声・滑舌 トレーニング 8 トレーニング	発声練習(長音、 実習 トレーニン	トレーニングを加えて	た発声)
3 発声・滑舌 4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング	発声練習(長音、	トレーニングを加え	た発声)
4 トレーニング 発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング	実習 トレーニン		
発声・滑舌 5 トレーニング 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング	発声・滑舌練習(† 実習 トレーニン		
5 発声・滑舌 6 トレーニング 発声・滑舌 7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング	発声・滑舌練習(+ 実習 トレーニン		
6 発声・滑舌 7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング	発声・滑舌練習(2		
7 トレーニング 発声・滑舌 8 トレーニング	実習 トレーニン発声・滑舌練習(2		
発声・滑舌 8	実習トレーニン		
8 1	発声・滑舌練習(元 実習 トレーニン		
	発声・滑舌練習(-		
9 実技テスト	実技テスト		
10 発声・滑舌	発声・滑舌練習(動	動きを加えての外郎	売練習)
11 発声・滑舌	発声・滑舌練習(動	動きを加えての外郎	売練習)
12 長文訓練	長文練習「暑い日	に熱い鍋」	
13 長文訓練	長文練習「暑い日	に熱い鍋」	
14 長文訓練	長文練習「真田の	サラダの皿だ」	
15 長文訓練	長文練習「真田の	サラダの皿だ」	
16 長文訓練	長文練習「固い方	「高い方」	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意	<u>-</u>
式結評価基準け A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以上)・	ただし、授業で学べ	るだけの体力と、発声 ることはやり方であっ むし練習することによっ	って、積み重ねが必要。
実務経験教員の経歴 演技者・ナレーターと	L.I 4. 0. 4		

科目名			映像				
担当教		広川 一義	実	務授業の有無		0	
対象学	————— 科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・	選択	選択	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概	要、目的、 進め方	1. 映像機材の名前、種類、扱い2. 撮影・編集の基本的知識3. スマホで撮影・編集・作品制					
学習目標(到達		スマホで簡単に動画制作が出来る	ること				
	ト・教材・参	教科書は使用しない、必要な資料	料はその都度配布				
回数	回数			学習	習方法・準備学習	・備考	
1	カメラ・編集機材	の説明		L			
2	カメラ・編集機材	の説明		使用方法			
3	撮影			撮影の基本的知識	ţ		
4	撮影			カメラワークにつ	いて		
5	撮影			サイズと照明効果			
6	撮影			10カット撮影してみよう			
7	編集			ソフトの選び方			
8	編集			カット編集の基本的知識(静止画)			
9	編集			カット編集の基本的知識(動画)			
10	編集			撮影した動画を自分で繋いでみる			
11	MA			映像に音楽・効果音・ナレーションを入れる			
12	MA			映像に音楽・効果	音・ナレーションを	を入れる	
13	作品制作						
14	作品制作						
15	1分間動画 作品系	発表 評論		スクリーンにて作	品投影		
16	1分間動画 作品勢	発表 評論 		スクリーンにて作	品投影		
	 言平1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ	
成績評価 D評価を ²	不可とする。	.上)・B(70点以上)・C(60点以上)			マホを使って自由に動	 面制作が出来ること	
実務経	経験教員の経歴	新潟	の映像制作プ	ロダクションに	て10年勤務		

			照明				
担当教員	1	新潟照明技研株式会社 3	5味澤 和宏 実	務授業の有無		0	
対象学科		全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・選	択	選択	単位数	_	単位時間数	16	
授業概要 授業の進		1. ステージ照明の機材・装置 2. ステージ照明のプランニン 3. 電気・作業手順など安全配	ノグが出来る。	する			
学習目標		安全に、作業を行うとともに、 得する。	必要な機材の選別	定、使用方法を理解	し、簡単な演出照明]とプランニングを}	
	・教材・参考 その他資料	教科書は使用しない、必要な資	資料はその都度配る	त्त			
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1	照明基礎1 機材	について	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	舞台照明の役割。	機材の出し方、し	まい方 	
2	照明基礎2 照明	卓操作と色の変化		機材の名称、使い	、方と安全な作業に <i>*</i>	ついて	
3	照明基礎3 機材	について復習と灯体の種類			各自で出し方、しまい方。 照明の各種灯体の説明。灯体の移設と撤去。		
4	照明基礎4 図面	iの見かたと電気の基礎知識		図面の読み方。回路など電気の知識。 灯体の吊り込み方について。			
5	照明基礎5 照明の図面を使ったイメージ作り				T体に配色。ポリカ [・]	ラーの解説。	
6	照明基礎 6 電気	基礎 原理基本編		オームの法則、左	三手の法則など。 D設置方法など、照明	日四日の訳尚	
7	照明基礎7 電気			灯具総数電気容量	の設置力法など、照り 量、使用電気の確認力 ス(当たり合わせ)		
8	照明基礎8 照明	仕込み図の作り方		図面の作り方、イ	(メージの具現化		
9	照明基礎 9 前期	復習(テスト)		図面の仕込みを実前回までの復習と	:知識面のテスト	₽	
10	照明基礎10 基				こ合わせた操作、スァ ロ識・技術の呼び戻		
11	照明基礎11 演	[目とイメージ			図面おこし。仮設定され	れた演目の図面から実	
12	 照明基礎12 音			に設置し、相違点を音楽モノの照明に	こついて		
13	 照明基礎13 芝	 [居などの効果演出		演劇用効果の出し	生曲に合わせての照り ル方、照明演出につい		
14				芝居演目に対応し 演出照明に必要な	よ機材等の説明		
15		。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		照明プランに関す			
16		- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一			高所灯具のフォース 戦と器具の管理・操作		
	M. 对至成了 0 至			ババグリック 正 成し入日 旧			
	評価	5方法・成績評価基準			履修上の注意	Ţ	
成績評価基 評価を不可	準は、A(80点以上)	実技試験25%、学習意欲10%)・B(70点以上)・C(60点以上)・	・D(59点以下)・D	に繋がっていくとは		で、可能な限りのアク	

科目名			音響			
担当教員		株式会社サウンドエイト	長谷川 辰也 実	務授業の有無		0
対象学科	斗	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期
必修・遺	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
授業概 授業の違	要、目的、 進め方	1. 音響機材の使用方法、4 2. 各種ケーブルの取り扱い 3. 録音機材を使用し、収録	い、取り回しを学ぶ	,		
学習目標(到達即	目標)	音の性質を理解し、扱える。	ようになる。			
	ト・教材・参考 ・その他資料	教科書は使用しない、必要な	な資料はその都度配布	ī		
回数	授業項目、内容			学習	習方法・準備学習	・備考
1	音響基礎実習Ⅰ			映像制作における	音の役割、録音のや	 うり方を学ぶ
2	音響基礎実習Ⅱ			音との性質、録音種類、扱い方法を		且み方法、ケーブルの
3	音響基礎実習Ⅲ			録音機材の準備方	法、撤収方法	
4	音響基礎実習IV			ブームの使用方法、レコーディング、ミキシング方法を学 、ぶ		
5	音響基礎実習V			スタジオ録音実習	23 3	
6	音響基礎実習VI			アフレコ録音実習	2 1	
7	音響基礎実習Ⅶ			アフレコ録音実習	9 1	
8	音響基礎実習Ⅷ			効果音実習(作成	式および、録音、適 ^ち	刀な選択方法)
9	音響基礎実習IX			効果音実習(作成	式および、録音、適 ⁵	刀な選択方法)
10	音響基礎実習X			整音実習(アフレ	ンコ素材の整音)	
11	音響基礎実習XI			整音実習(アフレコ素材の整音)		
12	音響基礎実習XII			整音実習(アフレ	ンコ素材の整音)	
13	音響仕上げ実習Ⅰ			ミックスダウンを	行ってみる。	
14	音響仕上げ実習Ⅱ			ミックスダウンを		
15	音響効果研究Ⅰ			果たしているかを	学習する	音がどのような役割を
16	音響効果研究Ⅱ			アカデミー録音賞 果たしているかを		音がどのような役割を
	評价				履修上の注意	Ţ
成績評価	70%、出席率30% 基準は、A(80点以 下可とする。	上)・B(70点以上)・C(60点り	(上)・D(59点以下)・		リ組み、全ての実習項! 象作品を完成させるこ。	目に出席し、かつ音響効 と。
実務経	験教員の経歴	新潟市を	・中心にイベント、	 舞台等の照明	<u></u> ・音響を手がける	
- ~ 3/3 /1-1		1017/09/19	. = :	<u>-</u> /// / J	= 3 .3 .7 .	

科目名		制作				
担当教員	大﨑 信行	実利	务授業の有無		0	
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期	
必修・選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間	
授業概要、目的、 授業の進め方 1. イベントが作られる仕組みを学ぶ 2. イベント運営を学ぶ 3. 自主企画イベントを行ってみる 学習目標 (到達目標) テキスト・教材・参 考図書・その他資料 1. イベントが作られる仕組みを学ぶ 2. イベントを行ってみる 参生自身のイベント企画、実施						
				1十十 准件出现		
回数 1 イベント企画導入				プ方法・準備学習 での必要な考え方	ⅰ ៕ 伤	
2 イベント企画導入					+ Z	
3 イベント企画 I	<u> </u>		イベントに必要な人材や役割を理解する 公演時に必要な役割と準備			
4 イベント企画 II			企画書作成に関する基礎知識			
5 イベント企画				関する取り組み方と実現性に	こついて	
6 イベント企画IV				アイデアをもとに、写		
7 イベント企画 V			様々な意見やジャンルからアイデアを集てみる			
8 イベント企画VI			アイデアを纏め、短時間設定での企画を立ててみる。			
9 イベント企画VII			仮想イベントを設定して、企画書の作成を行ってみよう (提出)			
10 イベント企画VIII			イベント論1 公演目的と意義			
11 イベント企画IX			イベント論2 地域交流(イベント)			
12 イベント企画 X			イベント論3 多種多様なイベント形態			
13 イベント企画XI			出演者やスタッフの動きを考える			
14 イベント企画XII			出演者のタイムス	ケジュールについて		
15 イベント企画XIII			スタッフ進行表に	ついて		
16 総括			実演目的の企画を	立ててみる。(演目	目時間自由)	
平	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技試験70%、出席率30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)・ D評価を不可とする。			16回すべての授業に	出席し、イベントの幻	企画を行う事	
実務経験教員の経歴		放送・音楽	業界の現場に	7年		

科目名			演出			
担当教	員	矢頭 勲	実	務授業の有無		0
対象学	科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	前期・後期
必修・	選択	必修	単位数	_	単位時間数	16時間
	要、目的、 進め方	1. 映像表現に必要な演出手法。 2. 学生の制作作品をチェックし		善的を指導する。		
学習目 (到達		自ら演出を考え、役者に芝居に原	芯じた演出を付け	られる		
	スト・教材・参 ・その他資料					
回数				学習	習方法・準備学習	引・備考
1	演出基礎Ⅰ			筋書と台詞につい	7	
2	演出基礎Ⅱ			立ち位置、見栄え	.、動き	
3	演出基礎Ⅲ			効果的な音響・照明効果		
4	演出論丨			著名な演出家		
5	演出論Ⅱ			歴史的・社会的・	世界観表現	
6	演出論Ⅲ			創作演出、メソッ	・ド効果など	
7	映像・演出とは何	「か		画面の映り方によ	る画面効果の違い	
8	映像・演出とは何	「か		視線の的確な誘導を考える!		
9	特殊撮影について			特撮の演出方法を研究する①		
10	特殊撮影について			特撮の演出方法を研究する②		
11	アクションについ	7		なめらかに見せる演出方法		
12	アクションについ	7		フレームインアウトなど		
13	場面転換の効果に	ついて		時間経過、場面転換などの演出方法①		
14	場面転換の効果に	ついて		時間経過、場面転	換などの演出方法の	2
15	学生作品(5分)	制作		各自、演出方法を参考に動画を制作してみる。		
16	学生作品(5分)(の編集チェック		各目、作品を持参 良し悪しの指導を	きしてプロジェクタ− ·行う。	-投影しなかり編集
	[平	 価方法・成績評価基準			 履修上の注意	
作品改美	 春の評価70%、学習					
成績評価		息飲30% (上)・B(70点以上)・C(60点以上)	・D(59点以下)・		は自身の作品であるこ :何本でも可能である。	٤٤.
実務経	経験教員の経歴	;	演劇業界にて乳	▲ 実績あり。当校□	專任講師	